

平成 26 年度

**「市民による市政評価」
結果報告書**

平成 26 年 11 月

大仙市 企画部 総合政策課

目 次

1 調査概要	4
1.1 調査の目的	
1.2 調査の対象、手法、期間	
1.3 調査の内容	
1.4 実施結果（回収率）	
2 調査結果	8
2.1 満足度および重要度の分析	
2.1.1 満足の度合い	
2.1.2 満足度における選択肢別の回答割合	10
2.1.3 重要の度合い	11
2.1.4 重要度における選択肢別の回答割合	13
2.1.5 満足度および重要度の属性別比較	14
2.1.6 項目別要望度	23
2.1.7 散布図	25
2.1.8 満足度および重要度の総括	27
2.2 さらに推進すべき取り組み分析	29
2.2.1 健康福祉分野に関する設問について	
2.2.2 教育分野に関する設問について	32
2.2.3 産業分野に関する設問について	35

2.2.4 都市基盤分野に関する設問について	38
2.2.5 環境・安全分野に関する設問について	41
2.2.6 地域情報・交流・行政運営分野に関する設問について ..	44
2.2.7 さらに推進すべき取り組みの総括	47
2.3 5年間の経年比較.....	49
2.4 自由記述の類型化	61
資料 平成26年度市民による市政評価調査票	90

1 調査概要

1.1 調査の目的

市の施策に対する市民の意見を調査・分析し、その結果を施策に反映させていくことで、効果的かつ効率的な市政運営に結び付けるとともに、調査報告を通して多くの市民に市の施策を周知し、市政運営に対する理解と市民との協働のまちづくりに向けた意識醸成を図ることを目的とする。

1.2 調査の対象、手法、期間

(1) 対象

18歳以上の市民の中から無作為に抽出した1,000人（性別、年齢、地域については考慮）に、希望者2人（広報だいせん5月号にて募集）を加えた計1,002人

(2) 手法

郵送アンケート（無記名回答）方式

(3) 期間

平成26年5月23日（金）～6月6日（金）

1.3 調査の内容

本調査では、大仙市総合計画に示している体系（「施策の柱」「施策の大綱」）に基づき設定した設問項目について、それぞれ「満足度」と「重要度」及び今後さらに推進すべき取り組みについて調査した。

◆「満足度」…大仙市の現状にどのくらい満足しているか。

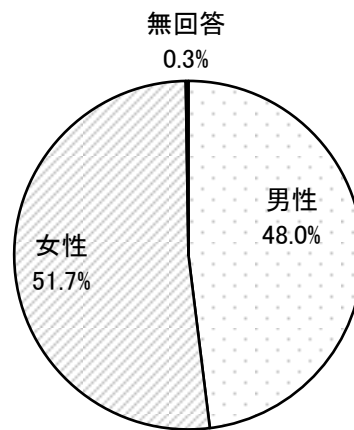
◆「重要度」…大仙市のまちづくりにとってどのくらい重要であると考えているか。

1.4 実施結果（回収率）

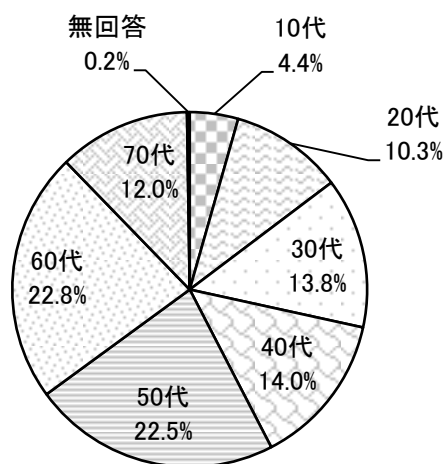
回収数 …… 408 人

回収率 …… 40.7%

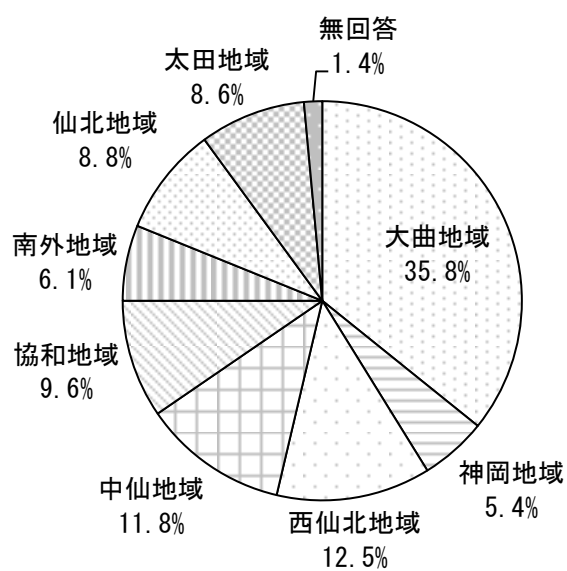
図表 1 回答者の性別の内訳



図表 2 回答者の年齢の内訳



図表 3 回答者の居住地域の内訳



2 調査結果

2.1 満足度および重要度の分析

2.1.1 満足の度合い

満足度の高い項目は昨年度同様「自然保護」が 3.46（昨年度：3.55）、「学校教育」が 3.41（昨年度：3.47）、「衛生環境」が 3.35（昨年度：3.38）となっている。

一方、満足度の低い項目は、「就業支援」が 2.41（昨年度：2.38）、「観光振興」が 2.64（昨年度：2.65）、「産業振興」が 2.69（昨年度：2.67）となっている。

昨年度と比較すると、全体的な動きは小さいものの「社会福祉」に下降が見られる。

図表 4 満足度（点数順）

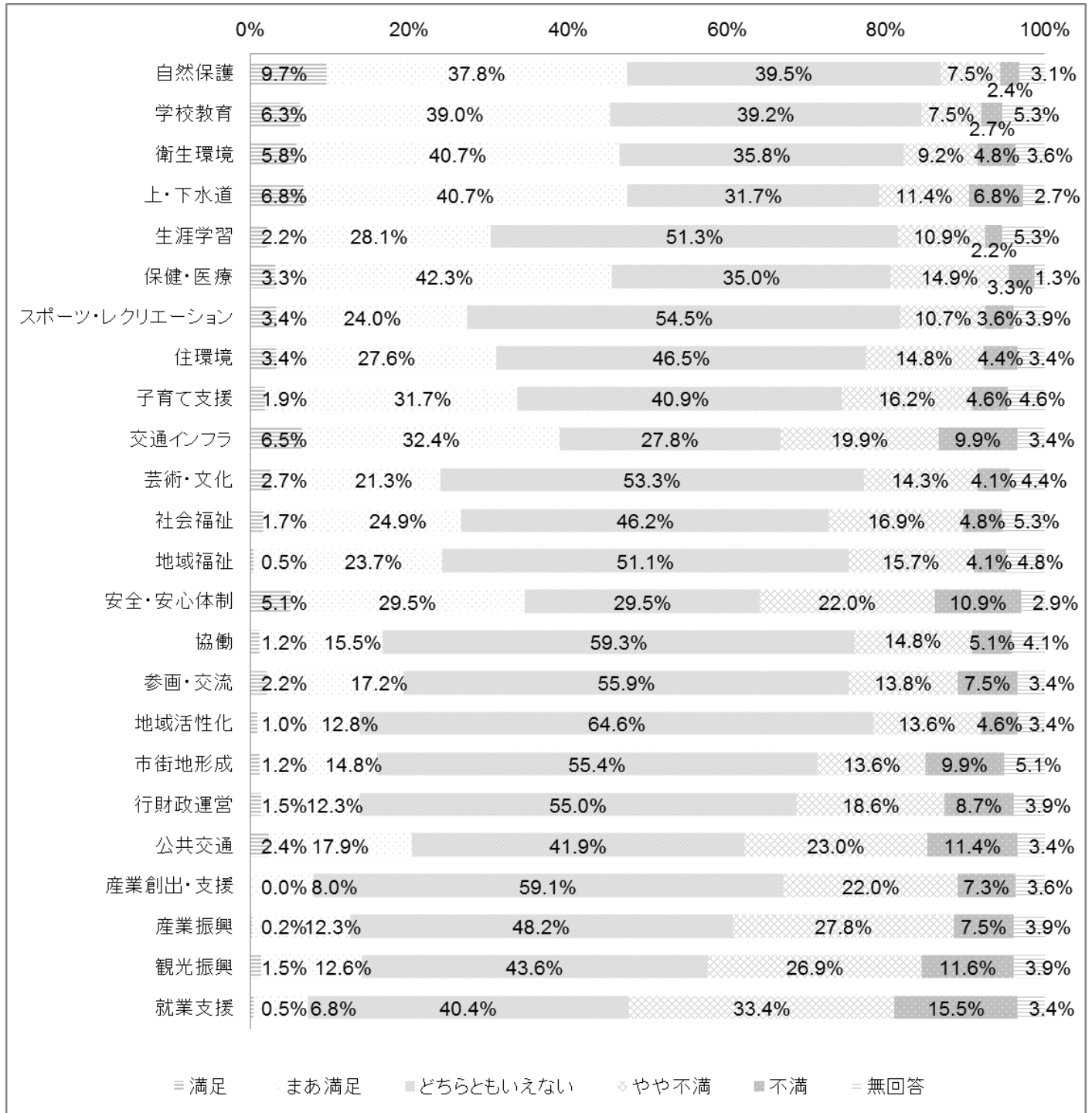
順位			項 目	満足度 ※1			
H25	H26			H26	H25	増減 (H26-H25)	
1	1		（自然保護） 緑豊かな自然環境の保全について	↘	3.46	3.55	▲ 0.09
2	2		（学校教育） 学習意欲と能力を養う学校教育について	↘	3.41	3.47	▲ 0.06
3	3		（衛生環境） 衛生的な環境整備やゴミの減量化について	→	3.35	3.38	▲ 0.03
4	4		（上・下水道） 快適な暮らしの基盤となる上・下水道の整備について	↘	3.30	3.36	▲ 0.06
7	5	↑	（生涯学習） 多様な学習機会から生涯を通じて学び、活かせる暮らしについて	→	3.18	3.22	▲ 0.04
5	6	↓	（保健・医療） 健康増進、介護予防にすんで取り組める環境や医療体制について	↘	3.15	3.29	▲ 0.14
9	7	↑	（スポーツ・レクリエーション） スポーツ・レクリエーションを通した豊かな生活の実現について	↘	3.13	3.20	▲ 0.07
10	8	↑	（住環境） 市営住宅や宅地、公園・緑地の整備について	↘	3.11	3.17	▲ 0.06
6	9	↓	（子育て支援） 安心して子育てができる社会環境について	↘	3.11	3.25	▲ 0.14
11	10	↑	（交通インフラ） 利便性の高い幹線道路と生活を支える道路の整備について	↘	3.06	3.14	▲ 0.08
12	11	↑	（芸術・文化） 芸術・文化活動、文化財に触れる機会について	↘	3.04	3.12	▲ 0.08
8	12	↓	（社会福祉） 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉などの充実について	↓	3.02	3.21	▲ 0.19
13	13		（地域福祉） 地域の住民、民間事業者、行政などが助け合い、支えあう福祉体制について	↘	3.01	3.09	▲ 0.08
15	14	↑	（安全・安心体制） 消防・防災体制や雪対策の強化について	→	2.96	2.96	0.00
16	15	↑	（協働） 市民と行政などが協働により高めあう地域づくりについて	→	2.93	2.94	▲ 0.01
14	16	↓	（参画・交流） 大仙市を訪れる人が魅力を感じる、温かみのある地域づくりについて	→	2.92	2.96	▲ 0.04
17	17		（地域活性化） 住民によるまちづくりが可能な地域社会の形成について	→	2.92	2.91	0.01
18	18		（市街地形成） 既存市街地を中心としたコンパクトな市街地の形成について	→	2.83	2.84	▲ 0.01
19	19		（行財政運営） 市の行財政運営の効率化について	↘	2.78	2.83	▲ 0.05
20	20		（公共交通） 長寿社会に対応した公共交通の確保について	→	2.76	2.78	▲ 0.02
23	21	↑	（産業創出・支援） 魅力ある産業の創出や市民の起業に対する支援について	↗	2.70	2.60	0.10
21	22	↓	（産業振興） 農林業、商工業を中心とした産業振興について	→	2.69	2.67	0.02
22	23	↓	（観光振興） 豊かな地域資源や交通の利便性を活用した観光振興について	→	2.64	2.65	▲ 0.01
24	24		（就業支援） 就業希望者に対するさまざまな支援について	→	2.41	2.38	0.03

※1) 満足度の矢印の説明

- 上昇 ↑ 前年比+0.15 以上
- やや上昇 ↗ 前年比+0.05 以上+0.15 未満
- 横ばい → 前年比-0.05 より大きく+0.05 未満
- やや下降 ↘ 前年比-0.05 以下-0.15 未満
- 下降 ↓ 前年比-0.15 以下

2.1.2 満足度における選択肢別の回答割合

図表 5 満足度における選択肢別の回答割合（点数順）



2.1.3 重要の度合い

重要度の高い項目は、「就業支援」が 4.38（昨年度：4.44）、「安全・安心体制」が 4.37（昨年度：4.45）、「子育て支援」が 4.35（昨年度：4.45）となっている。

一方、重要度の低い項目は「市街地形成」が 3.53（昨年度：3.61）、「スポーツ・レクリエーション」が 3.54（昨年度：3.61）、「芸術・文化」が 3.54（昨年度：3.62）となっている。

昨年度と比較すると、全体的な動きは小さいものの「公共交通」、「産業創出・支援」に下降が見られる。

図表 6 重要度（点数順）

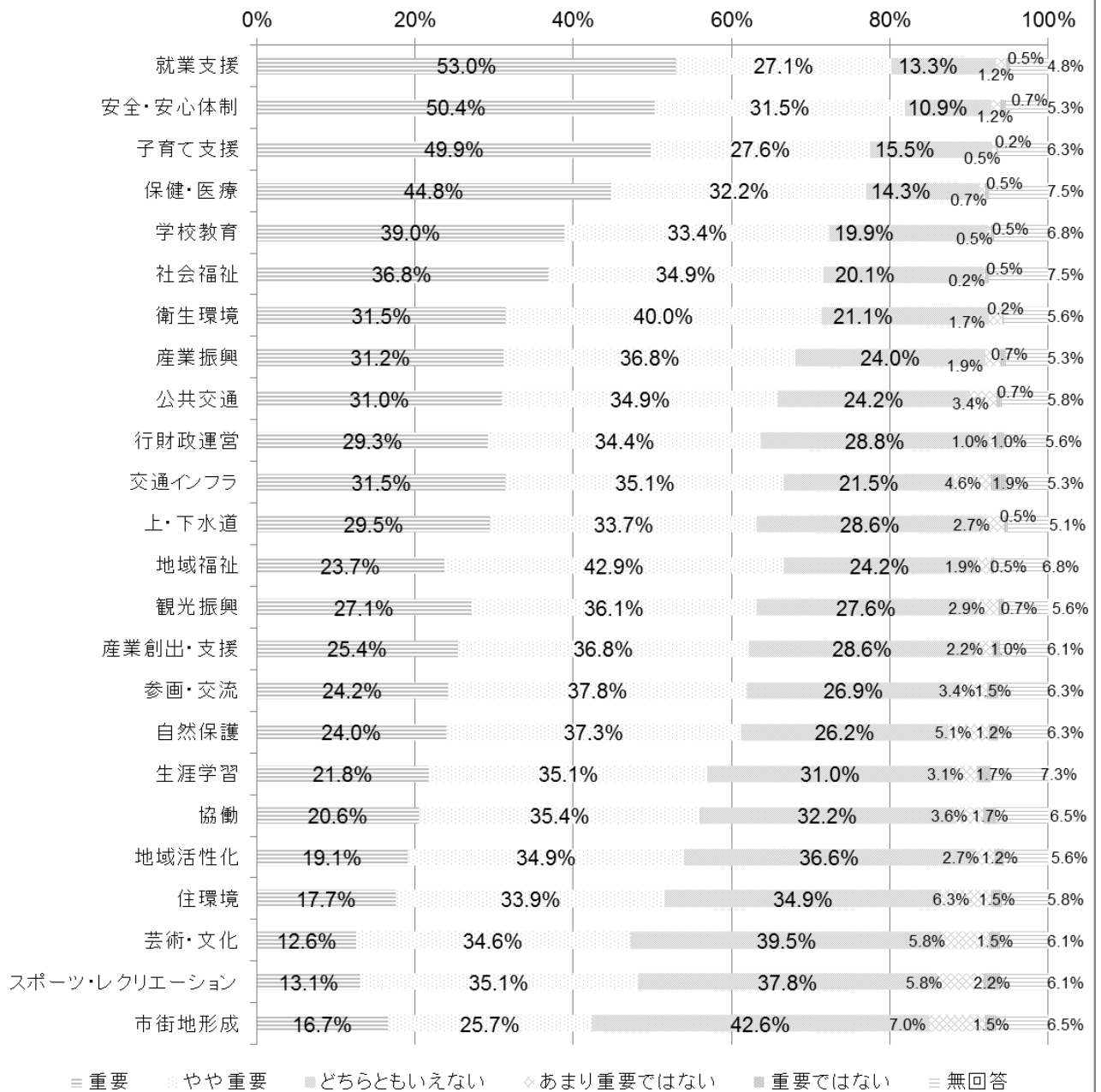
順位			項 目	重要度 ※1			
H25	H26			H26		H25	増減 (H26-H25)
3	1	↑	(就業支援) 就業希望者に対するさまざまな支援について	↘	4.38	4.44	▲ 0.06
1	2	↓	(安全・安心体制) 消防・防災体制や雪対策の強化について	↘	4.37	4.45	▲ 0.08
2	3	↓	(子育て支援) 安心して子育てができる社会環境について	↘	4.35	4.45	▲ 0.10
4	4		(保健・医療) 健康増進、介護予防にすすんで取り組める環境や医療体制について	↘	4.30	4.35	▲ 0.05
5	5		(学校教育) 学習意欲と能力を養う学校教育について	↘	4.18	4.23	▲ 0.05
6	6		(社会福祉) 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉などの充実について	→	4.16	4.18	▲ 0.02
9	7	↑	(衛生環境) 衛生的な環境整備やゴミの減量化について	→	4.07	4.11	▲ 0.04
8	8		(産業振興) 農林業、商工業を中心とした産業振興について	↘	4.01	4.11	▲ 0.10
7	9	↓	(公共交通) 長寿社会に対応した公共交通の確保について	↓	3.98	4.13	▲ 0.15
14	10	↑	(行財政運営) 市の行財政運営の効率化について	→	3.95	3.98	▲ 0.03
10	11	↓	(交通インフラ) 利便性の高い幹線道路と生活を支える道路の整備について	↘	3.95	4.09	▲ 0.14
13	12	↑	(上・下水道) 快適な暮らしの基盤となる上・下水道の整備について	↘	3.94	4.04	▲ 0.10
11	13	↓	(地域福祉) 地域の住民、民間事業者、行政などが助け合い、支えあう福祉体制について	↘	3.94	4.07	▲ 0.13
15	14	↑	(観光振興) 豊かな地域資源や交通の利便性を活用した観光振興について	→	3.91	3.95	▲ 0.04
12	15	↓	(産業創出・支援) 魅力ある産業の創出や市民の起業に対する支援について	↓	3.89	4.04	▲ 0.15
16	16		(参画・交流) 大仙市を訪れる人が魅力を感じる、温かみのある地域づくりについて	↘	3.85	3.94	▲ 0.09
17	17		(自然保護) 緑豊かな自然環境の保全について	↘	3.83	3.90	▲ 0.07
19	18	↑	(生涯学習) 多様な学習機会から生涯を通じて学び、活かせる暮らしについて	→	3.78	3.82	▲ 0.04
18	19	↓	(協働) 市民と行政などが協働により高めあう地域づくりについて	↘	3.74	3.87	▲ 0.13
20	20		(地域活性化) 住民によるまちづくりが可能な地域社会の形成について	→	3.72	3.76	▲ 0.04
21	21		(住環境) 市営住宅や宅地、公園・緑地の整備について	↘	3.64	3.75	▲ 0.11
22	22		(芸術・文化) 芸術・文化活動、文化財に触れる機会について	↘	3.54	3.62	▲ 0.08
24		↑	(スポーツ・レクリエーション) スポーツ・レクリエーションを通じた豊かな生活の実現について	↘	3.54	3.61	▲ 0.07
23	24	↓	(市街地形成) 既存市街地を中心としたコンパクトな市街地の形成について	↘	3.53	3.61	▲ 0.08

※1) 重要度の矢印の説明

上昇	↑	前年比+0.15 以上
やや上昇	↗	前年比+0.05 以上+0.15 未満
横ばい	→	前年比-0.05 より大きく+0.05 未満
やや下降	↘	前年比-0.05 以下-0.15 未満
下降	↓	前年比-0.15 以下

2.1.4 重要度における選択肢別の回答割合

図表 7 重要度における選択肢別の回答割合（点数順）



2.1.5 満足度および重要度の属性別比較

図表 8 性別による満足度・重要度

■男性

【満足度】

		(上位)
順位	項目	満足度
1	自然保護	3.41
2	衛生環境	3.38
3	学校教育	3.35
4	保険・医療	3.24
5	上・下水道	3.23

		(下位)
順位	項目	満足度
20	市街地形成	2.75
21	産業創出・支援	2.68
22	産業振興	2.66
23	観光振興	2.63
24	就業支援	2.46

【重要度】

		(上位)
順位	項目	重要度
1	子育て支援	4.28
2	就業支援	4.27
3	安全・安心体制	4.27
4	保険・医療	4.25
5	学校教育	4.08

		(下位)
順位	項目	重要度
20	生涯学習	3.65
21	スポーツ・レクリエーション	3.58
22	住環境	3.54
23	芸術・文化	3.50
24	市街地形成	3.49

■女性

【満足度】

		(上位)
順位	項目	満足度
1	自然保護	3.51
2	学校教育	3.47
3	上・下水道	3.37
4	衛生環境	3.33
5	保険・医療	3.31

		(下位)
順位	項目	満足度
20	行財政運営	2.76
21	産業創出・支援	2.73
22	産業振興	2.71
23	観光振興	2.65
24	就業支援	2.37

【重要度】

		(上位)
順位	項目	重要度
1	就業支援	4.47
2	安全・安心体制	4.46
3	子育て支援	4.41
4	保険・医療	4.34
5	学校教育	4.27

		(下位)
順位	項目	重要度
20	住環境	3.73
21	地域活性化	3.71
22	芸術・文化	3.58
23	市街地形成	3.57
24	スポーツ・レクリエーション	3.51

図表 9 年代別による満足度・重要度

■10代

【満足度】

(上位)

順位	項目	満足度
1	学校教育	3.72
2	上・下水道	3.44
	自然保護	3.44
4	衛生環境	3.33
5	行財政運営	3.28

(下位)

順位	項目	満足度
21	産業創出・支援	2.72
22	市街地形成	2.63
23	就業支援	2.56
24	公共交通	2.56

【重要度】

(上位)

順位	項目	重要度
1	就業支援	4.72
2	子育て支援	4.71
3	社会福祉	4.65
4	安全・安心体制	4.61
5	保険・医療	4.59

(下位)

順位	項目	重要度
20	芸術・文化	3.82
21	上・下水道	3.78
22	地域活性化	3.72
23	住環境	3.56
24	スポーツ・レクリエーション	3.53

■20代

【満足度】

(上位)

順位	項目	満足度
1	自然保護	3.40
2	上・下水道	3.37
3	衛生環境	3.33
4	保険・医療	3.26
5	学校教育	3.24

(下位)

順位	項目	満足度
20	公共交通	2.76
21	観光振興	2.65
22	産業振興	2.55
23	産業創出・支援	2.50
24	就業支援	2.27

【重要度】

(上位)

順位	項目	重要度
1	就業支援	4.79
2	子育て支援	4.54
3	保険・医療	4.41
4	安全・安心体制	4.36
5	社会福祉	4.35

(下位)

順位	項目	重要度
21	協働	3.74
22	生涯学習	3.73
23	地域活性化	3.69
24	市街地形成	3.54

■30代

【満足度】

(上位)

順位	項目	満足度
1	自然保護	3.60
2	学校教育	3.45
3	上・下水道	3.41
4	生涯学習	3.17
5	スポーツ・レクリエーション	3.16

(下位)

順位	項目	満足度
20	産業振興	2.80
	観光振興	2.80
22	協働	2.80
23	行財政運営	2.73
24	就業支援	2.41

【重要度】

(上位)

順位	項目	重要度
1	子育て支援	4.42
2	安全・安心体制	4.39
3	就業支援	4.36
4	衛生環境	4.22
5	社会福祉	4.20

(下位)

順位	項目	重要度
20	産業創出・支援	3.72
	自然保護	3.72
22	スポーツ・レクリエーション	3.62
23	芸術・文化	3.51
24	市街地形成	3.47

■40代

【満足度】

(上位)

順位	項目	満足度
1	学校教育	3.53
2	自然保護	3.49
3	衛生環境	3.45
4	生涯学習	3.29
5	住環境	3.27

(下位)

順位	項目	満足度
20	産業創出・支援	2.69
21	産業振興	2.58
22	観光振興	2.55
	公共交通	2.55
24	就業支援	2.35

【重要度】

(上位)

順位	項目	重要度
1	就業支援	4.45
2	子育て支援	4.35
3	安全・安心体制	4.32
	社会福祉	4.24
4	学校教育	4.24
	公共交通	4.24

(下位)

順位	項目	重要度
20	市街地形成	3.65
21	協働	3.64
22	住環境	3.55
23	芸術・文化	3.53
24	スポーツ・レクリエーション	3.49

■50代

【満足度】

(上位)

順位	項目	満足度
1	自然保護	3.42
2	衛生環境	3.41
3	保険・医療	3.36
4	上・下水道	3.20
5	学校教育	3.18

(下位)

順位	項目	満足度
21	産業振興	2.59
22	産業創出・支援	2.58
23	観光振興	2.48
24	就業支援	2.30

【重要度】

(上位)

順位	項目	重要度
1	就業支援	4.53
2	安全・安心体制	4.43
3	保険・医療	4.40
4	子育て支援	4.30
5	学校教育	4.21

(下位)

順位	項目	重要度
20	協働	3.74
21	住環境	3.61
22	芸術・文化	3.59
23	市街地形成	3.53
24	スポーツ・レクリエーション	3.49

■60代

【満足度】

(上位)

順位	項目	満足度
1	学校教育	3.47
2	自然保護	3.46
3	衛生環境	3.40
4	スポーツ・レクリエーション	3.33
5	保険・医療	3.31

(下位)

順位	項目	満足度
20	行財政運営	2.76
21	産業創出・支援	2.75
22	産業振興	2.75
23	観光振興	2.67
24	就業支援	2.53

【重要度】

(上位)

順位	項目	重要度
1	子育て支援	4.36
2	安全・安心体制	4.33
3	保険・医療	4.32
4	就業支援	4.14
5	学校教育	4.10

(下位)

順位	項目	重要度
20	地域活性化	3.65
21	住環境	3.55
22	芸術・文化	3.47
	スポーツ・レクリエーション	3.47
	市街地形成	3.47

■70代

【満足度】

(上位)

順位	項目	満足度
1	学校教育	3.59
2	保険・医療	3.58
3	上・下水道	3.57
4	子育て支援	3.48
5	自然保護	3.40

(下位)

順位	項目	満足度
20	市街地形成	2.91
21	産業振興	2.84
22	産業創出・支援	2.82
23	観光振興	2.69
24	就業支援	2.57

【重要度】

(上位)

順位	項目	重要度
1	安全・安心体制	4.26
2	保険・医療	4.16
3	学校教育	4.14
4	上・下水道	4.05
5	子育て支援	4.00
	衛生環境	4.00

(下位)

順位	項目	重要度
20	観光振興	3.60
21	スポーツ・レクリエーション	3.60
22	住環境	3.39
23	芸術・文化	3.36
	市街地形成	3.36

※ 80代以上については、回答者がありませんでした。

図表 10 地域別による満足度・重要度

■大曲地域

【満足度】

(上位)

順位	項目	満足度
1	保険・医療	3.47
2	自然保護	3.41
3	学校教育	3.38
4	衛生環境	3.34
5	上・下水道	3.33

(下位)

順位	項目	満足度
20	公共交通	2.85
21	産業創出・支援	2.79
22	産業振興	2.75
23	観光振興	2.70
24	就業支援	2.52

【重要度】

(上位)

順位	項目	重要度
1	保険・医療	4.37
2	安全・安心体制	4.36
3	就業支援	4.32
4	子育て支援	4.29
5	学校教育	4.22

(下位)

順位	項目	重要度
20	市街地形成	3.66
21	協働	3.65
22	スポーツ・レクリエーション	3.60
23	地域活性化	3.57
24	芸術・文化	3.53

■神岡地域

【満足度】

(上位)

順位	項目	満足度
1	学校教育	3.71
2	子育て支援	3.62
3	上・下水道	3.59
4	保険・医療	3.47
5	生涯学習	3.43

(下位)

順位	項目	満足度
21	行財政運営	2.73
22	公共交通	2.71
23	産業振興	2.43
24	就業支援	2.32

【重要度】

(上位)

順位	項目	重要度
1	保険・医療	4.37
2	就業支援	4.36
3	子育て支援	4.33
4	学校教育	4.29
5	安全・安心体制	4.23

(下位)

順位	項目	重要度
21	交通インフラ	3.57
	住環境	3.57
23	スポーツ・レクリエーション	3.33
24	芸術・文化	3.29

■西仙北地域

【満足度】

(上位)

順位	項目	満足度
1	自然保護	3.45
2	上・下水道	3.39
	衛生環境	3.39
4	学校教育	3.38
5	生涯学習	3.35

(下位)

順位	項目	満足度
20	交通インフラ	2.80
21	観光振興	2.74
22	産業振興	2.73
23	産業創出・支援	2.67
24	就業支援	2.41

【重要度】

(上位)

順位	項目	重要度
1	就業支援	4.56
2	子育て支援	4.55
3	安全・安心体制	4.46
4	保険・医療	4.43
5	産業振興	4.25

(下位)

順位	項目	重要度
20	生涯学習	3.73
21	芸術・文化	3.59
22	住環境	3.52
23	スポーツ・レクリエーション	3.41
	市街地形成	3.41

■中仙地域

【満足度】

(上位)

順位	項目	満足度
1	自然保護	3.57
2	学校教育	3.34
3	衛生環境	3.20
4	住環境	3.11
5	生涯学習	3.04

(下位)

順位	項目	満足度
20	参画・交流	2.70
21	公共交通	2.53
22	行財政運営	2.52
23	観光振興	2.38
24	就業支援	2.19

【重要度】

(上位)

順位	項目	重要度
1	就業支援	4.62
2	安全・安心体制	4.52
3	子育て支援	4.38
4	学校教育	4.23
5	衛生環境	4.22

(下位)

順位	項目	重要度
20	上・下水道	3.81
21	住環境	3.69
22	芸術・文化	3.66
23	スポーツ・レクリエーション	3.60
24	市街地形成	3.39

■協和地域

【満足度】

(上位)

順位	項目	満足度
1	上・下水道	3.61
2	自然保護	3.42
3	学校教育	3.41
4	衛生環境	3.21
5	保険・医療	3.19
	子育て支援	3.19

(下位)

順位	項目	満足度
20	産業創出・支援	2.66
	市街地形成	2.66
22	観光振興	2.61
23	公共交通	2.50
24	就業支援	2.37

【重要度】

(上位)

順位	項目	重要度
1	子育て支援	4.26
2	社会福祉	4.25
3	安全・安心体制	4.24
4	就業支援	4.21
	衛生環境	4.21

(下位)

順位	項目	重要度
20	協働	3.75
21	参画・交流	3.72
22	芸術・文化	3.61
23	市街地形成	3.48
24	スポーツ・レクリエーション	3.47

■南外地域

【満足度】

(上位)

順位	項目	満足度
1	スポーツ・レクリエーション	3.60
2	自然保護	3.56
3	衛生環境	3.48
4	学校教育	3.40
	上・下水道	3.40

(下位)

順位	項目	満足度
20	交通インフラ	2.60
21	公共交通	2.48
	市街地形成	2.48
23	産業振興	2.44
24	就業支援	2.28

【重要度】

(上位)

順位	項目	重要度
1	安全・安心体制	4.56
2	子育て支援	4.48
3	学校教育	4.38
4	就業支援	4.32
5	保険・医療	4.29

(下位)

順位	項目	重要度
20	生涯学習	3.63
21	スポーツ・レクリエーション	3.60
22	市街地形成	3.56
	住環境	3.56
24	芸術・文化	3.36

■仙北地域

【満足度】

(上位)

順位	項目	満足度
1	自然保護	3.56
2	学校教育	3.46
3	衛生環境	3.39
4	上・下水道	3.28
5	交通インフラ	3.17

(下位)

順位	項目	満足度
20	行財政運営	2.61
21	観光振興	2.56
22	産業振興	2.54
23	就業支援	2.50
24	産業創出・支援	2.47

【重要度】

(上位)

順位	項目	重要度
1	就業支援	4.34
2	子育て支援	4.29
3	衛生環境	4.29
	安全・安心体制	4.29
5	保険・医療	4.13

(下位)

順位	項目	重要度
20	協働	3.65
21	住環境	3.60
22	市街地形成	3.59
23	芸術・文化	3.53
	スポーツ・レクリエーション	3.53

■太田地域

【満足度】

(上位)

順位	項目	満足度
1	衛生環境	3.65
2	自然保護	3.53
3	学校教育	3.41
4	交通インフラ	3.25
5	上・下水道	3.18

(下位)

順位	項目	満足度
20	地域福祉	2.65
21	市街地形成	2.61
22	産業創出・支援	2.58
23	行財政運営	2.56
24	就業支援	2.47

【重要度】

(上位)

順位	項目	重要度
1	子育て支援	4.24
2	安全・安心体制	4.18
3	就業支援	4.18
	保険・医療	4.18
5	社会福祉	4.09

(下位)

順位	項目	重要度
20	スポーツ・レクリエーション	3.52
21	芸術・文化	3.50
	観光振興	3.50
23	住環境	3.39
24	市街地形成	3.18

2.1.6 項目別要望度

要望度とは、重要度から満足度を引いた数値としている。

要望度の高い項目は、「就業支援」が 1.96（昨年度：2.06）、「安全・安心体制」が 1.41（昨年度：1.49）、「産業振興」が 1.33（昨年度：1.52）となっている。

昨年度と比較すると「社会福祉」が大きく上昇し、反対に「産業振興」、「産業創出・支援」が大きく下降している。

図表 11 項目別要望度 (重要度－満足度) (点数順)

順位			項 目	要望度 ※1			
H25	H26	H26		H25	増減 (H26-H25)		
1	1		(就業支援) 就業希望者に対するさまざまな支援について	↘	1.96	2.06	▲ 0.10
3	2	↑	(安全・安心体制) 消防・防災体制や雪対策の強化について	↘	1.41	1.49	▲ 0.08
2	3	↓	(産業振興) 農林業、商工業を中心とした産業振興について	↓	1.33	1.52	▲ 0.19
6	4	↑	(観光振興) 豊かな地域資源や交通の利便性を活用した観光振興について	→	1.27	1.30	▲ 0.03
7	5	↑	(子育て支援) 安心して子育てができる社会環境について	→	1.24	1.20	0.04
5	6	↓	(公共交通) 長寿社会に対応した公共交通の確保について	↘	1.21	1.35	▲ 0.14
4	7	↓	(産業創出・支援) 魅力ある産業の創出や市民の起業に対する支援について	↓	1.19	1.36	▲ 0.17
8	8		(行財政運営) 市の行財政運営の効率化について	→	1.17	1.15	0.02
9	9		(保健・医療) 健康増進、介護予防にすんで取り組める環境や医療体制について	→	1.15	1.06	0.09
12	10	↑	(社会福祉) 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉などの充実について	↑	1.14	0.96	0.18
11	11		(地域福祉) 地域の住民、民間事業者、行政などが助け合い、支えあう福祉体制について	→	0.93	0.98	▲ 0.05
10	12	↓	(参画・交流) 大仙市を訪れる人が魅力を感じる、温かみのある地域づくりについて	→	0.93	0.98	▲ 0.05
13	13		(交通インフラ) 利便性の高い幹線道路と生活を支える道路の整備について	↘	0.89	0.94	▲ 0.05
14	14		(協働) 市民と行政などが協働により高めあう地域づくりについて	↘	0.82	0.93	▲ 0.11
15	15		(地域活性化) 住民によるまちづくりが可能な地域社会の形成について	→	0.80	0.85	▲ 0.05
17	16	↑	(学校教育) 学習意欲と能力を養う学校教育について	→	0.77	0.76	0.01
18	17	↑	(衛生環境) 衛生的な環境整備やゴミの減量化について	→	0.72	0.73	▲ 0.01
16	18	↓	(市街地形成) 既存市街地を中心としたコンパクトな市街地の形成について	↘	0.70	0.77	▲ 0.07
19	19		(上・下水道) 快適な暮らしの基盤となる上・下水道の整備について	→	0.64	0.68	▲ 0.04
20	20		(生涯学習) 多様な学習機会から生涯を通じて学び、活かせる暮らしについて	→	0.60	0.60	0.00
21	21		(住環境) 市営住宅や宅地、公園・緑地の整備について	↘	0.52	0.58	▲ 0.06
22	22		(芸術・文化) 芸術・文化活動、文化財に触れる機会について	→	0.50	0.49	0.01
23	23		(スポーツ・レクリエーション) スポーツ・レクリエーションを通した豊かな生活の実現について	→	0.41	0.41	▲ 0.00
24	24		(自然保護) 緑豊かな自然環境の保全について	→	0.37	0.36	0.01

※1) 要望度の矢印の説明

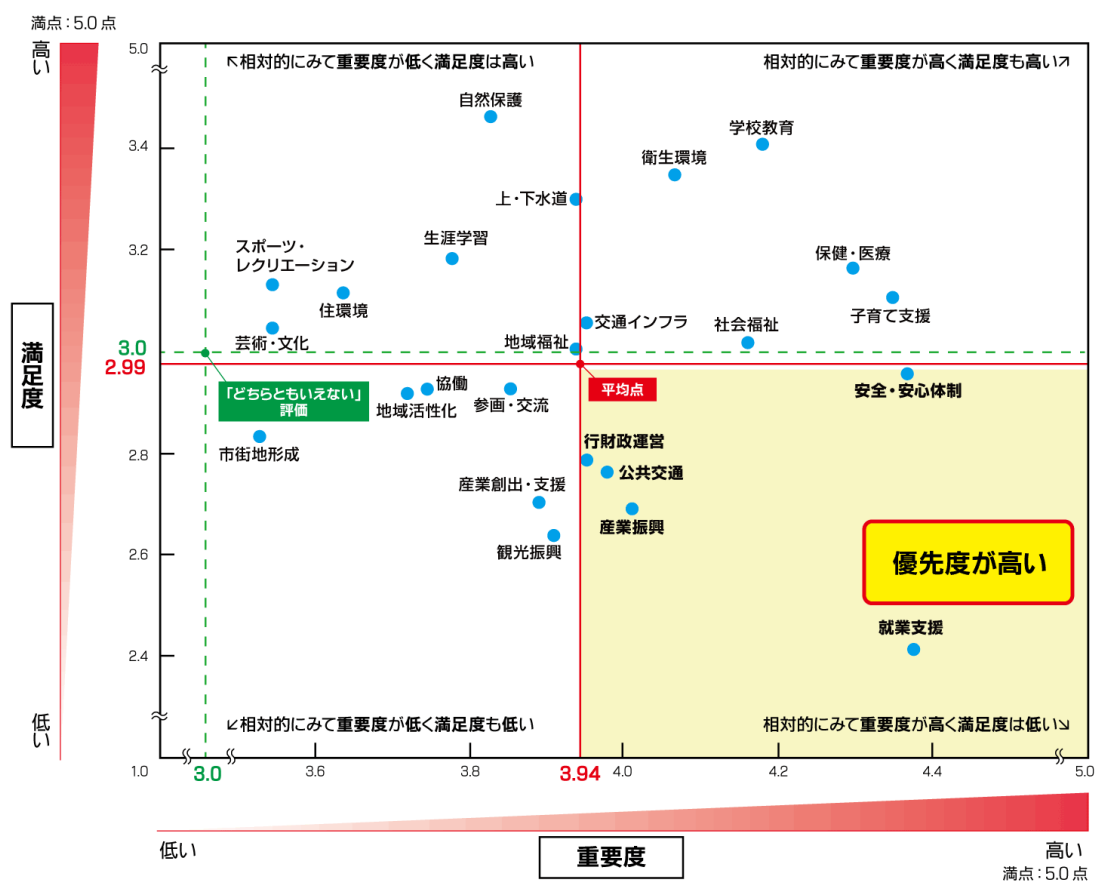
- 上昇 ↑ 前年比+0.15 以上
 やや上昇 ↗ 前年比+0.05 以上+0.15 未満
 横ばい → 前年比-0.05 より大きく+0.05 未満
 やや下降 ↘ 前年比-0.05 以下-0.15 未満
 下降 ↓ 前年比-0.15 以下

2.1.7 散布図

図表 12 の散布図は、満足度を縦軸とし、重要度を横軸に 24 項目の位置を描いたものである。図の左下に位置するほど満足度が低く重要度も低い項目となり、逆に図の右上に位置するほど満足度が高く重要度も高い項目であることを意味している。

相対的にみて、要望度（優先度）が高い施策（重要度は高いが満足度は低い）は、「就業支援」、「安全・安心体制」、「産業振興」、「公共交通」、「行財政運営」となっている。

図表 12 満足度・重要度の項目別比較



2.1.8 満足度および重要度の総括

〈満足の度合い〉

満足度の高い項目は昨年度同様「自然保護」が 3.46（昨年度：3.55）、「学校教育」が 3.41（昨年度：3.47）、「衛生環境」が 3.35（昨年度：3.38）となっている。

一方、満足度の低い項目は、「就業支援」が 2.41（昨年度：2.38）、「観光振興」が 2.64（昨年度：2.65）、「産業振興」が 2.69（昨年度：2.67）となっている。

昨年度と比較すると、全体的な動きは小さいものの「社会福祉」に下降が見られる。

〈重要の度合い〉

重要度の高い項目は、「就業支援」が 4.38（昨年度：4.44）、「安全・安心体制」が 4.37（昨年度：4.45）、「子育て支援」が 4.35（昨年度：4.45）となっている。

一方、重要度の低い項目は「市街地形成」が 3.53（昨年度：3.61）、「スポーツ・レクリエーション」が 3.54（昨年度：3.61）、「芸術・文化」が 3.54（昨年度：3.62）となっている。

昨年度と比較すると、全体的な動きは小さいものの「公共交通」、「産業創出・支援」に下降が見られる。

〈要望の度合い（優先度）〉

要望度の高い項目は、「就業支援」が 1.96（昨年度：2.06）、「安全・安心体制」が 1.41（昨年度：1.49）、「産業振興」が 1.33（昨年度：1.52）となっている。

昨年度と比較すると「社会福祉」が大きく上昇し、反対に「産業振興」、「産業創出・支援」が大きく下降している。

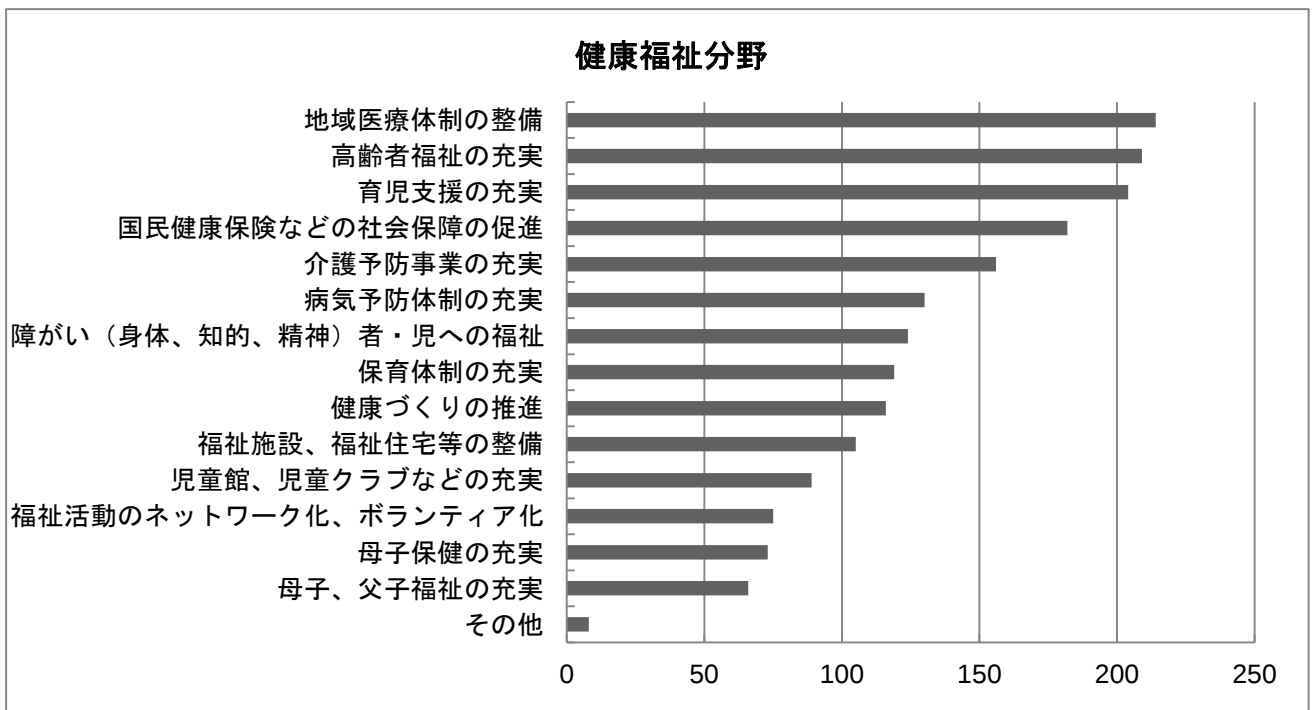
2.2 さらに推進すべき取り組み分析

2.2.1 健康福祉分野に関する設問について

さらに推進すべき取り組みの上位は、昨年度同様「地域医療体制の整備」、「高齢者福祉の充実」、「育児支援の充実」となっている。

一方、下位は「母子、父子福祉の充実」、「母子保健の充実」、「福祉活動のネットワーク化、ボランティア化」となっている。

図表 13 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 14 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	13
2	育児支援の充実	10
3	高齢者福祉の充実	9
	福祉施設、福祉住宅等の整備	9
5	保育体制の充実	8

■20代

順位	項目	回答数
1	育児支援の充実	27
2	病気予防体制の充実	19
	国民健康保険などの社会保障の促進	19
4	高齢者福祉の充実	17
	地域医療体制の整備	15
5	保育体制の充実	15
	障がい(身体、知的、精神)者・児への福祉	15

■30代

順位	項目	回答数
1	育児支援の充実	38
2	地域医療体制の整備	33
3	高齢者福祉の充実	26
4	児童館、児童クラブなどの充実	25
5	保育体制の充実	23

■40代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	34
2	育児支援の充実	29
2	高齢者福祉の充実	29
4	障がい(身体、知的、精神)者・児への福祉	24
	国民健康保険などの社会保障の促進	24

■50代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	53
2	高齢者福祉の充実	52
3	育児支援の充実	44
4	介護予防事業の充実	36
	国民健康保険などの社会保障の促進	36

■60代

順位	項目	回答数
1	国民健康保険などの社会保障の促進	51
2	高齢者福祉の充実	49
3	介護予防事業の充実	45
4	地域医療体制の整備	43
5	育児支援の充実	39

■70代

順位	項目	回答数
1	国民健康保険などの社会保障の促進	30
2	高齢者福祉の充実	27
3	介護予防事業の充実	23
4	地域医療体制の整備	22
5	健康づくりの推進	21

※ 80代以上については、回答者なし。

図表 15 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	高齢者福祉の充実	83
2	地域医療体制の整備	78
3	育児支援の充実	75
4	国民健康保険などの社会保障の促進	61
5	介護予防事業の充実	59

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	高齢者福祉の充実	11
2	地域医療体制の整備	10
	介護予防事業の充実	10
4	国民健康保険などの社会保障の促進	8
	健康づくりの推進	6
5	保育体制の充実	6
	児童館、児童クラブなどの充実	6
	福祉活動のネットワーク化、ボランティア化	6

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	国民健康保険などの社会保障の促進	29
2	地域医療体制の整備	28
3	育児支援の充実	24
4	高齢者福祉の充実	23
5	介護予防事業の充実	19
	福祉施設、福祉住宅等の整備	19

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	育児支援の充実	30
2	地域医療体制の整備	26
3	高齢者福祉の充実	25
4	保育体制の充実	23
	国民健康保険などの社会保障の促進	23

■協和地域

順位	項目	回答数
1	高齢者福祉の充実	17
	国民健康保険などの社会保障の促進	17
	地域医療体制の整備	15
3	育児支援の充実	15
	介護予防事業の充実	15

■南外地域

順位	項目	回答数
1	育児支援の充実	15
2	地域医療体制の整備	13
3	高齢者福祉の充実	12
4	障がい(身体、知的、精神)者・児への福祉	10
	病氣予防体制の充実	9
5	介護予防事業の充実	9
	国民健康保険などの社会保障の促進	9

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	国民健康保険などの社会保障の促進	19
2	地域医療体制の整備	18
	高齢者福祉の充実	18
4	育児支援の充実	15
	介護予防事業の充実	15

■太田地域

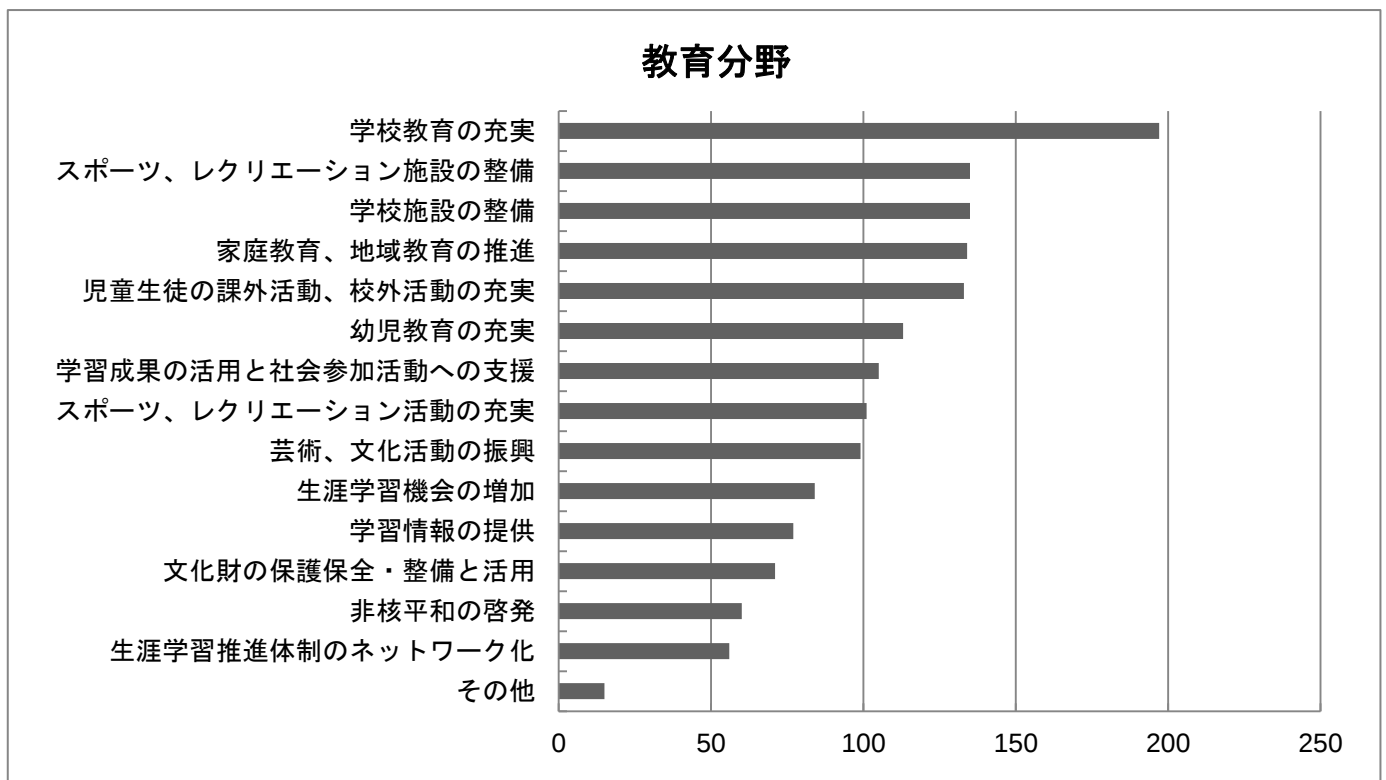
順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	23
2	育児支援の充実	20
3	高齢者福祉の充実	19
4	国民健康保険などの社会保障の促進	15
5	健康づくりの推進	13
	病氣予防体制の充実	13

2.2.2 教育分野に関する設問について

さらに推進すべき取り組みの上位は「学校教育の充実」、「スポーツ、レクリエーション施設の整備」、「学校施設の整備」となっている。

一方、下位は「生涯学習推進体制とネットワーク化」、「非核平和の啓発」、「文化財の保護保全・整備と活用」となっている。

図表 16 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 17 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	9
2	スポーツ、レクリエーション活動の充実	8
3	学校施設の整備	7
4	児童生徒の課外活動、校外活動の充実	6
	スポーツ、レクリエーション施設の整備	6

■20代

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	23
2	学校施設の整備	21
3	児童生徒の課外活動、校外活動の充実	19
4	幼児教育の充実	17
5	学習成果の活用と社会参加活動への支援	15
	芸術、文化活動の振興	15

■30代

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	30
2	学校施設の整備	21
	スポーツ、レクリエーション施設の整備	21
4	児童生徒の課外活動、校外活動の充実	20
5	幼児教育の充実	19

■40代

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	26
2	学校施設の整備	24
3	スポーツ、レクリエーション施設の整備	23
4	家庭教育、地域教育の推進	20
5	学習成果の活用と社会参加活動への支援	16
	芸術、文化活動の振興	16

■50代

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	49
2	家庭教育、地域教育の推進	31
3	スポーツ、レクリエーション施設の整備	30
4	学校施設の整備	29
	児童生徒の課外活動、校外活動の充実	29

■60代

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	37
	家庭教育、地域教育の推進	37
3	児童生徒の課外活動、校外活動の充実	33
4	幼児教育の充実	26
5	生涯学習機会の増加	25

■70代

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	23
2	スポーツ、レクリエーション施設の整備	17
	非核平和の啓発	17
4	児童生徒の課外活動、校外活動の充実	16
5	家庭教育、地域教育の推進	15

※ 80代以上については、回答者なし。

図表 18 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	70
2	学校施設の整備	55
3	スポーツ、レクリエーション施設の整備	54
4	家庭教育、地域教育の推進	47
5	幼児教育の充実	41

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	スポーツ、レクリエーション施設の整備	10
2	児童生徒の課外活動、校外活動の充実	9
	スポーツ、レクリエーション活動の充実	9
4	学校教育の充実	8
5	家庭教育、地域教育の推進	6
	学校施設の整備	6

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	27
2	児童生徒の課外活動、校外活動の充実	21
3	学校施設の整備	18
4	スポーツ、レクリエーション施設の整備	16
5	家庭教育、地域教育の推進	14
	学習成果の活用と社会参加活動への支援	14

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	25
2	学校施設の整備	23
3	家庭教育、地域教育の推進	21
4	児童生徒の課外活動、校外活動の充実	20
5	幼児教育の充実	19
	スポーツ、レクリエーション施設の整備	19

■協和地域

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	18
2	家庭教育、地域教育の推進	10
	児童生徒の課外活動、校外活動の充実	10
	幼児教育の充実	9
4	生涯学習機会の増加	9
	芸術、文化活動の振興	9

■南外地域

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	14
2	幼児教育の充実	9
	家庭教育、地域教育の推進	9
4	スポーツ、レクリエーション施設の整備	8
5	学校施設の整備	7

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	14
	家庭教育、地域教育の推進	14
3	児童生徒の課外活動、校外活動の充実	12
	学習成果の活用と社会参加活動への支援	12
5	スポーツ、レクリエーション活動の充実	11
	スポーツ、レクリエーション施設の整備	11

■太田地域

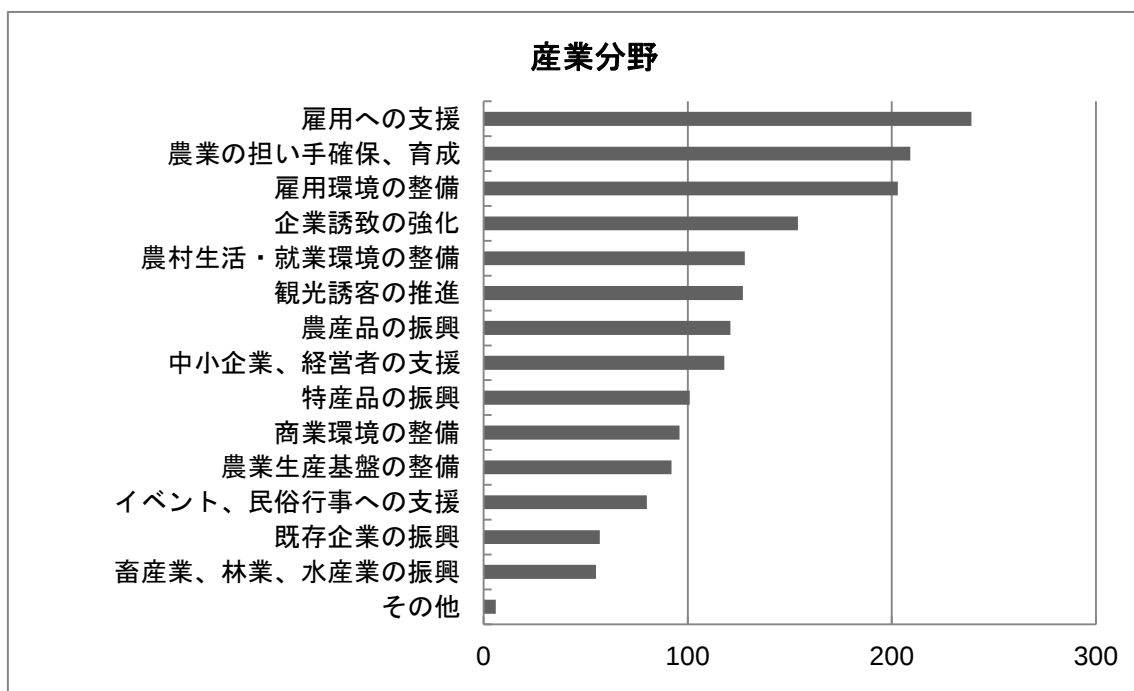
順位	項目	回答数
1	学校教育の充実	19
2	児童生徒の課外活動、校外活動の充実	13
3	幼児教育の充実	11
	学校施設の整備	11
5	家庭教育、地域教育の推進	10
	芸術、文化活動の振興	10

2.2.3 産業分野に関する設問について

さらに推進すべき取り組みの上位は、昨年度同様「雇用への支援」、「農業の担い手確保、育成」、「雇用環境の整備」となっている。

一方、下位についても昨年度同様「畜産業、林業、水産業の振興」、「既存企業の振興」、「イベント、民俗行事への支援」となっている。

図表 19 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 20 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	雇用への支援	13
2	雇用環境の整備	11
3	農業の担い手確保、育成	10
4	農産品の振興	7
	既存企業の振興	7
	観光誘客の推進	7

■20代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	22
	雇用への支援	22
3	雇用環境の整備	20
4	観光誘客の推進	19
5	企業誘致の強化	18

■30代

順位	項目	回答数
1	雇用への支援	35
2	農業の担い手確保、育成	31
3	雇用環境の整備	25
4	観光誘客の推進	24
5	中小企業、経営者の支援	19

■40代

順位	項目	回答数
1	雇用への支援	29
2	雇用環境の整備	26
3	農業の担い手確保、育成	25
4	中小企業、経営者の支援	23
5	企業誘致の強化	22

■50代

順位	項目	回答数
1	雇用への支援	61
2	雇用環境の整備	49
3	農業の担い手確保、育成	48
4	企業誘致の強化	41
5	農村生活・就業環境の整備	33

■60代

順位	項目	回答数
1	雇用への支援	57
2	農業の担い手確保、育成	50
3	雇用環境の整備	49
4	企業誘致の強化	34
5	農村生活・就業環境の整備	31

■70代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	23
	雇用環境の整備	23
3	雇用への支援	21
4	農村生活・就業環境の整備	19
	企業誘致の強化	19

※ 80代以上については、回答者なし。

図表 21 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	雇用への支援	89
2	雇用環境の整備	70
3	企業誘致の強化	62
4	農業の担い手確保、育成	58
5	観光誘客の推進	52

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	雇用への支援	15
2	雇用環境の整備	14
3	農業の担い手確保、育成	12
	企業誘致の強化	12
5	観光誘客の推進	8

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	33
2	雇用環境の整備	30
3	雇用への支援	27
4	農村生活・就業環境の整備	19
	企業誘致の強化	19

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	雇用への支援	31
2	雇用環境の整備	29
3	農業の担い手確保、育成	27
4	農村生活・就業環境の整備	25
5	中小企業、経営者の支援	22

■協和地域

順位	項目	回答数
1	雇用への支援	20
2	農業の担い手確保、育成	19
3	雇用環境の整備	16
4	企業誘致の強化	14
5	農村生活・就業環境の整備	12

■南外地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	16
2	雇用への支援	13
3	農産品の振興	9
	雇用環境の整備	9
5	農業生産基盤の整備	8

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	雇用への支援	22
2	農業の担い手確保、育成	19
	雇用環境の整備	19
4	企業誘致の強化	16
5	農産品の振興	13
	特産品の振興	13

■太田地域

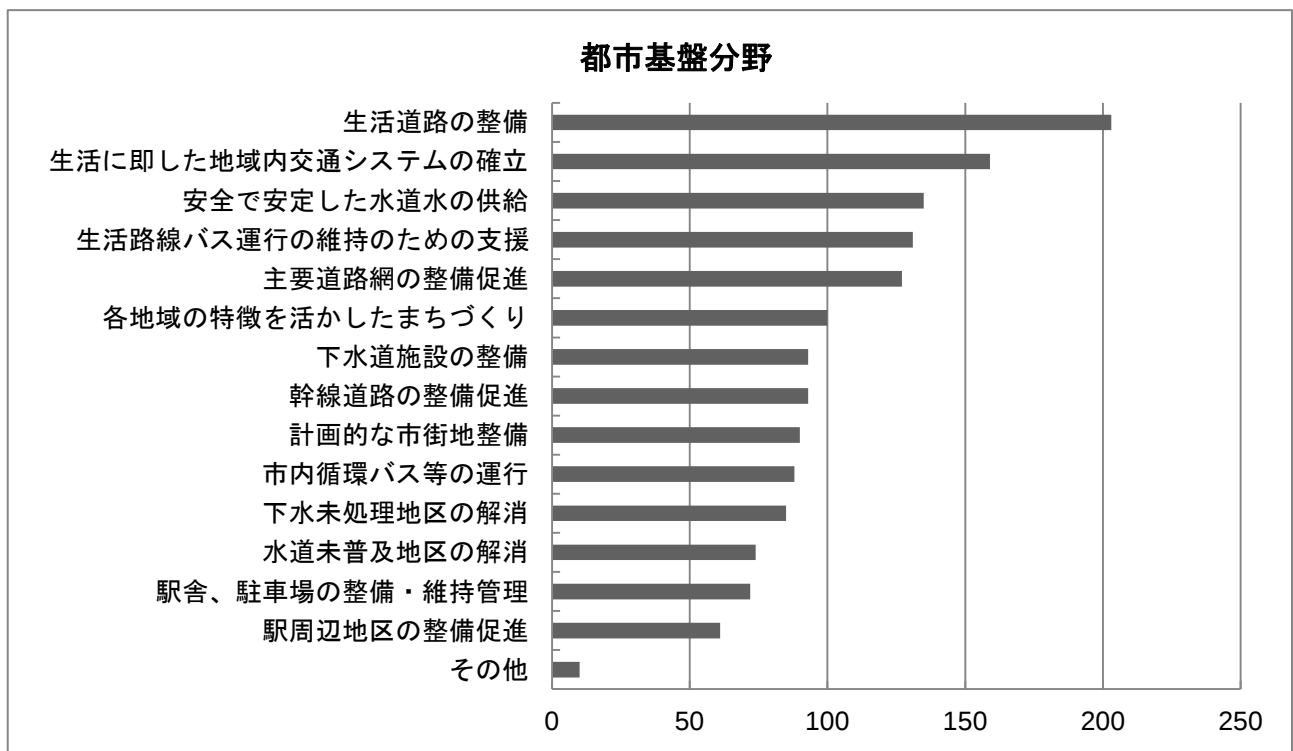
順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	23
2	雇用への支援	19
3	雇用環境の整備	15
4	農産品の振興	14
5	農業生産基盤の整備	12

2.2.4 都市基盤分野に関する設問について

さらに推進すべき取り組みの上位は昨年度同様、「生活道路の整備」、「生活に即した地域内交通システムの確立」、「安全で安定した水道水の供給」となっている。

一方、下位は「駅周辺地区の整備促進」、「駅舎、駐車場の整備・維持管理」、「水道未普及地区の解消」となっている。

図表 22 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 23 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	主要道路網の整備促進	10
2	生活道路の整備	9
3	幹線道路の整備促進	8
	駅舎、駐車場の整備・維持管理	8
5	計画的な市街地整備	7
	安全で安定した水道水の供給	7

■20代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	23
2	安全で安定した水道水の供給	17
3	生活に即した地域内交通システムの確立	16
4	主要道路網の整備促進	15
	計画的な市街地整備	15

■30代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	28
2	生活に即した地域内交通システムの確立	24
3	主要道路網の整備促進	22
	安全で安定した水道水の供給	22
5	生活路線バス運行の維持のための支援	17
	各地域の特徴を活かしたまちづくり	17

■40代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	36
2	主要道路網の整備促進	22
3	幹線道路の整備促進	19
	生活に即した地域内交通システムの確立	19
5	市内循環バス等の運行	18

■50代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	45
2	生活に即した地域内交通システムの確立	41
3	安全で安定した水道水の供給	33
4	主要道路網の整備促進	30
5	生活路線バス運行の維持のための支援	28

■60代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	38
2	生活に即した地域内交通システムの確立	36
3	生活路線バス運行の維持のための支援	32
4	各地域の特徴を活かしたまちづくり	27
5	安全で安定した水道水の供給	24

■70代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	23
2	生活路線バス運行の維持のための支援	20
3	生活に即した地域内交通システムの確立	17
4	安全で安定した水道水の供給	15
5	各地域の特徴を活かしたまちづくり	13

※ 80代以上については、回答者なし。

図表 24 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	67
2	生活に即した地域内交通システムの確立	59
3	安全で安定した水道水の供給	48
4	下水道施設の整備	43
5	主要道路網の整備促進	41

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	11
	生活路線バス運行の維持のための支援	7
2	市内循環バス等の運行	7
	生活に即した地域内交通システムの確立	7
	計画的な市街地整備	5
5	各地域の特徴を活かしたまちづくり	5
	安全で安定した水道水の供給	5
	下水未処理地区の解消	5

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	31
	主要道路網の整備促進	18
2	生活に即した地域内交通システムの確立	18
4	生活路線バス運行の維持のための支援	17
5	幹線道路の整備促進	14

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	26
	生活路線バス運行の維持のための支援	22
2	生活に即した地域内交通システムの確立	22
4	各地域の特徴を活かしたまちづくり	18
	安全で安定した水道水の供給	18

■協和地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	18
2	生活に即した地域内交通システムの確立	17
3	主要道路網の整備促進	16
4	安全で安定した水道水の供給	15
5	生活路線バス運行の維持のための支援	12

■南外地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	13
	主要道路網の整備促進	10
2	生活路線バス運行の維持のための支援	10
4	安全で安定した水道水の供給	9
	下水未処理地区の解消	9

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	16
	生活路線バス運行の維持のための支援	14
2	生活に即した地域内交通システムの確立	14
4	安全で安定した水道水の供給	11
5	各地域の特徴を活かしたまちづくり	10

■太田地域

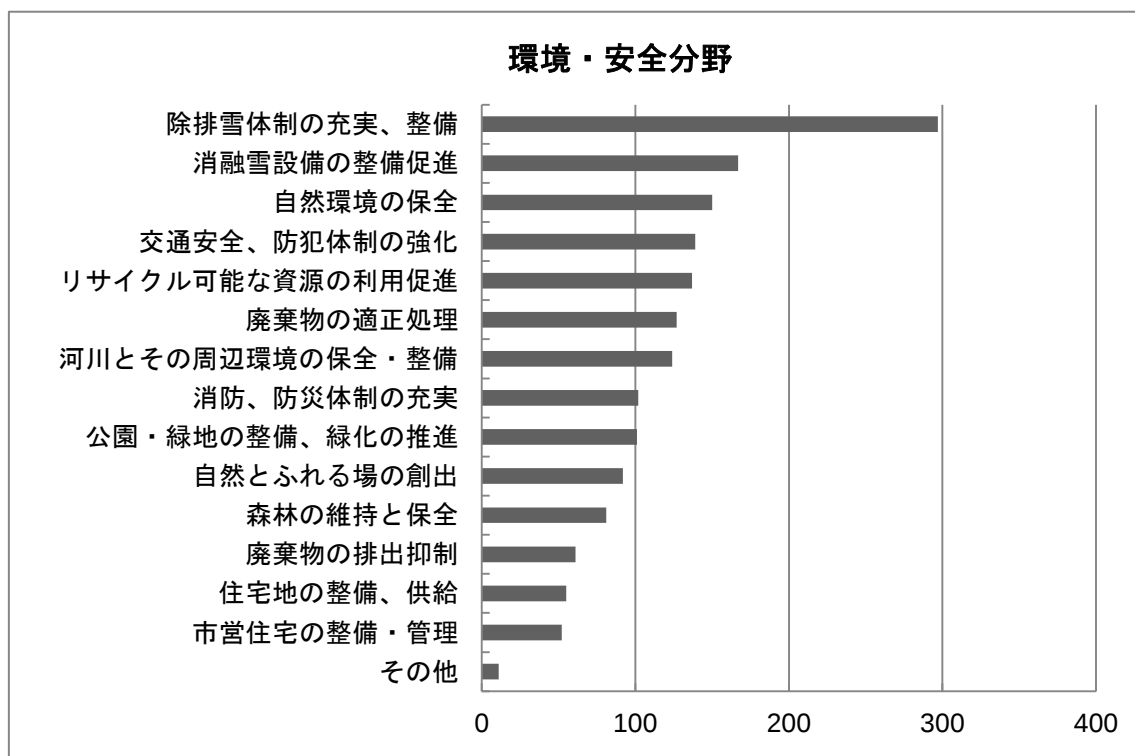
順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	16
2	生活に即した地域内交通システムの確立	15
3	安全で安定した水道水の供給	14
	主要道路網の整備促進	11
4	幹線道路の整備促進	11

2.2.5 環境・安全分野に関する設問について

さらに推進すべき取り組みの上位は昨年度同様「除排雪体制の充実、整備」、「消融雪施設の整備促進」、「自然環境の保全」となっている。

一方、下位についても昨年度同様「市営住宅の整備・管理」、「住宅地の整備、供給」、「廃棄物の排出抑制」となっている。

図表 25 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 26 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	14
	リサイクル可能な資源の利用促進	8
2	交通安全、防犯体制の強化	8
	消融雪設備の整備促進	8
5	自然環境の保全	7
	消防、防災体制の充実	7

■20代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	28
2	消融雪設備の整備促進	19
3	自然環境の保全	15
4	公園・緑地の整備、緑化の推進	14
	交通安全、防犯体制の強化	14

■30代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	41
2	公園・緑地の整備、緑化の推進	25
3	交通安全、防犯体制の強化	23
4	消融雪設備の整備促進	22
5	自然環境の保全	17

■40代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	48
2	消融雪設備の整備促進	22
3	自然環境の保全	19
	廃棄物の適正処理	16
4	リサイクル可能な資源の利用促進	16
	交通安全、防犯体制の強化	16
	消防、防災体制の充実	16

■50代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	74
2	消融雪設備の整備促進	38
3	自然環境の保全	34
	リサイクル可能な資源の利用促進	34
5	河川とその周辺環境の保全・整備	31

■60代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	58
2	消融雪設備の整備促進	36
3	廃棄物の適正処理	34
	交通安全、防犯体制の強化	34
5	自然環境の保全	33

■70代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	33
2	自然環境の保全	24
3	消融雪設備の整備促進	22
4	リサイクル可能な資源の利用促進	21
5	河川とその周辺環境の保全・整備	20
	交通安全、防犯体制の強化	20

※ 80代以上については、回答者なし。

図表 27 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	109
2	消融雪設備の整備促進	75
3	交通安全、防犯体制の強化	58
4	自然環境の保全	51
5	公園・緑地の整備、緑化の推進	44

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	14
2	廃棄物の適正処理	11
3	リサイクル可能な資源の利用促進	10
4	自然環境の保全	8
	消融雪設備の整備促進	8

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	38
2	自然環境の保全	20
3	消融雪設備の整備促進	18
4	河川とその周辺環境の保全・整備	17
5	廃棄物の適正処理	16

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	34
2	河川とその周辺環境の保全・整備	22
3	自然環境の保全	21
4	交通安全、防犯体制の強化	20
5	廃棄物の適正処理	19

■協和地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	28
2	消融雪設備の整備促進	16
3	廃棄物の適正処理	14
4	自然環境の保全	13
	交通安全、防犯体制の強化	13

■南外地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	19
2	自然環境の保全	10
3	廃棄物の適正処理	9
4	リサイクル可能な資源の利用促進	8
	交通安全、防犯体制の強化	7
5	消防、防災体制の充実	7
	消融雪設備の整備促進	7

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	28
2	リサイクル可能な資源の利用促進	21
3	消融雪設備の整備促進	15
4	河川とその周辺環境の保全・整備	13
5	公園・緑地の整備、緑化の推進	12
	廃棄物の適正処理	12

■太田地域

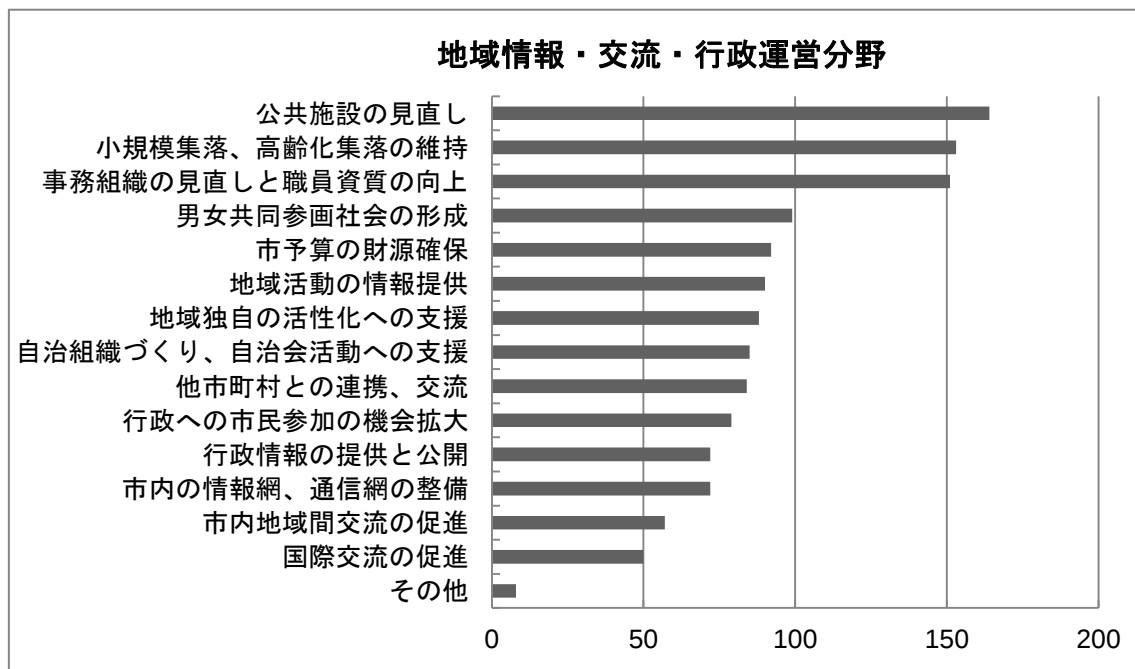
順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実、整備	22
2	自然環境の保全	16
3	河川とその周辺環境の保全・整備	12
4	交通安全、防犯体制の強化	11
	消融雪設備の整備促進	11

2.2.6 地域情報・交流・行政運営分野に関する設問について

さらに推進すべき取り組みの上位は「公共施設の見直し」、「小規模集落、高齢化集落の維持」、「事務組織の見直しと職員資質の向上」となっている。

一方、下位は「国際交流の促進」、「市内地域間交流の促進」、「市内地域間交流の促進」となっている。

図表 28 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 29 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	市予算の財源確保	8
2	地域活動の情報提供	7
	公共施設の見直し	7
4	小規模集落、高齢化集落の維持	6
	男女共同参画社会の形成	4
5	国際交流の促進	4
	行政情報の提供と公開	4
	事務組織の見直しと職員資質の向上	4

■20代

順位	項目	回答数
1	公共施設の見直し	21
2	小規模集落、高齢化集落の維持	13
	男女共同参画社会の形成	12
3	地域活動の情報提供	12
	地域独自の活性化への支援	12

■30代

順位	項目	回答数
1	公共施設の見直し	32
2	事務組織の見直しと職員資質の向上	19
3	市内の情報網、通信網の整備	15
4	男女共同参画社会の形成	14
5	他市町村との連携、交流	12
	小規模集落、高齢化集落の維持	12

■40代

順位	項目	回答数
1	公共施設の見直し	29
2	小規模集落、高齢化集落の維持	17
	事務組織の見直しと職員資質の向上	17
4	男女共同参画社会の形成	12
	市予算の財源確保	12

■50代

順位	項目	回答数
1	事務組織の見直しと職員資質の向上	44
2	公共施設の見直し	35
3	小規模集落、高齢化集落の維持	33
4	他市町村との連携、交流	23
5	市予算の財源確保	22

■60代

順位	項目	回答数
1	小規模集落、高齢化集落の維持	48
2	事務組織の見直しと職員資質の向上	36
3	自治組織づくり、自治会活動への支援	29
4	公共施設の見直し	27
5	地域活動の情報提供	22
	市予算の財源確保	22

■70代

順位	項目	回答数
1	小規模集落、高齢化集落の維持	24
2	事務組織の見直しと職員資質の向上	20
3	男女共同参画社会の形成	18
	地域独自の活性化への支援	18
5	行政への市民参加の機会拡大	17

※ 80代以上については、回答者なし。

図表 30 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	事務組織の見直しと職員資質の向上	58
2	公共施設の見直し	57
3	男女共同参画社会の形成	36
	小規模集落、高齢化集落の維持	36
5	市予算の財源確保	35

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	小規模集落、高齢化集落の維持	13
2	公共施設の見直し	12
3	事務組織の見直しと職員資質の向上	8
4	地域活動の情報提供	7
	地域独自の活性化への支援	7

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	小規模集落、高齢化集落の維持	25
2	公共施設の見直し	19
3	事務組織の見直しと職員資質の向上	18
4	自治組織づくり、自治会活動への支援	15
5	地域活動の情報提供	14

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	公共施設の見直し	25
2	小規模集落、高齢化集落の維持	24
3	男女共同参画社会の形成	20
	自治組織づくり、自治会活動への支援	20
5	事務組織の見直しと職員資質の向上	19

■協和地域

順位	項目	回答数
1	公共施設の見直し	18
	事務組織の見直しと職員資質の向上	18
3	小規模集落、高齢化集落の維持	17
4	市内地域間交流の促進	10
	男女共同参画社会の形成	8
5	他市町村との連携、交流	8
	行政への市民参加の機会拡大	8
	市予算の財源確保	8

■南外地域

順位	項目	回答数
1	小規模集落、高齢化集落の維持	12
2	公共施設の見直し	9
3	自治組織づくり、自治会活動への支援	8
4	事務組織の見直しと職員資質の向上	7
5	市予算の財源確保	6

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	小規模集落、高齢化集落の維持	15
2	公共施設の見直し	13
3	市予算の財源確保	11
4	他市町村との連携、交流	10
	事務組織の見直しと職員資質の向上	10

■太田地域

順位	項目	回答数
1	事務組織の見直しと職員資質の向上	11
2	小規模集落、高齢化集落の維持	10
	男女共同参画社会の形成	9
3	地域独自の活性化への支援	9
	公共施設の見直し	9

2.2.7 さらに推進すべき取り組みの総括

健康福祉分野

- ・ さらに推進すべき取り組みとして「地域医療体制の整備」、「高齢者福祉の充実」、「育児支援の充実」の回答割合が高くなっている。
- ・ 10代～30代ではさらに推進すべき取り組みとして「保育体制の充実」が、他の年代に比べて高くなっている。
- ・ 20代、50代～70代では「国民健康保険などの社会保障の促進」の回答割合が、他の年代に比べて高くなっている。

教育分野

- ・ さらに推進すべき取り組みとして、「学校教育の充実」、「スポーツ、レクリエーション施設の整備」、「学校施設の整備」の回答割合が高くなっている。
- ・ 10代～30代、50代～70代では、さらに推進すべき取り組みとして「児童生徒の課外活動、校外活動の充実」の回答割合が、他の年代に比べて高くなっている。
- ・ 40代～70代では、さらに推進すべき取り組みとして「家庭教育、地域教育の推進」の回答割合が、他の年代に比べて高くなっている。

産業分野

- ・ さらに推進すべき取り組みとして、昨年度同様「雇用への支援」、「農業の担い手確保、育成」、「雇用環境の整備」の回答割合が高くなっている。
- ・ 10代～30代では、さらに推進すべき取り組みとして「観光誘客の推進」の回答割合が、他の年代に比べて高くなっている。
- ・ 20代、40代～70代では、さらに推進すべき取り組みとして「企業誘致の強化」の回答割合が、他の年代に比べて高くなっている。

都市基盤分野

- ・ さらに推進すべき取り組みとして「生活道路の整備」、「生活に即した地域内交通システムの確立」、「安全で安定した水道水の供給」の回答割合が高くなっている。
- ・ 10代～50代では、さらに推進すべき取り組みとして「主要道路網の整備促進」の回答割合が、他の年代に比べて高くなっている。
- ・ 30代、50代～70代では、さらに推進すべき取り組みとして「生活路線バス運行の維持のための支援」の回答割合が、他の年代に比べて高くなっている。

環境・安全分野

- ・ さらに推進すべき取り組みとして「除排雪体制の充実、整備」、「消融雪施設の整備促進」、「自然環境の保全」の回答割合が高くなっている。
- ・ 10代、40代～50代、70代では、さらに推進すべき取り組みとして「リサイクル可能な資源の利用促進」の回答割合が、他の年代に比べて高くなっている。
- ・ 10代～40代、60代～70代では、さらに推進すべき取り組みとして「交通安全、防犯体制の強化」の回答割合が、他の年代に比べて高くなっている。

地域情報・交流・行政運営分野

- ・ さらに推進すべき取り組みとして、「公共施設の見直し」、「小規模集落、高齢化集落の維持」、「事務組織の見直しと職員資質の向上」の回答割合が高くなっている。
- ・ 10代、40代～60代では、さらに推進すべき取り組みとして「市予算の財源確保」の回答割合が、他の年代に比べて高くなっている。
- ・ 10代～40代、70代では、さらに推進すべき取り組みとして「男女共同参画社会の形成」の回答割合が、他の年代に比べて高くなっている。

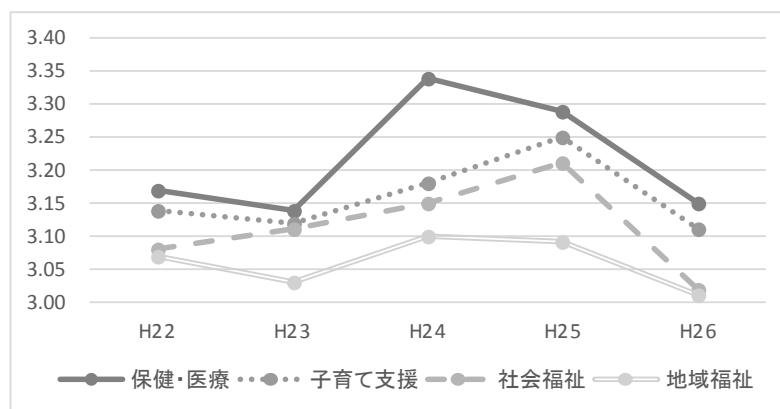
2.3 5年間の経年比較

平成22年度から26年度まで、過去5年間の満足度、重要度、要望度についての推移をまとめた。

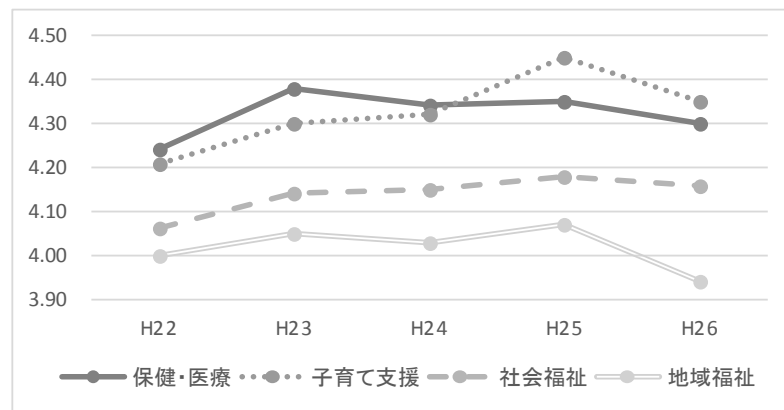
I 安心して健やかに暮らせるまちづくり

満足度、重要度はほぼ横ばいで推移し、要望度については「子育て支援」「社会福祉」にやや上昇が見られる。

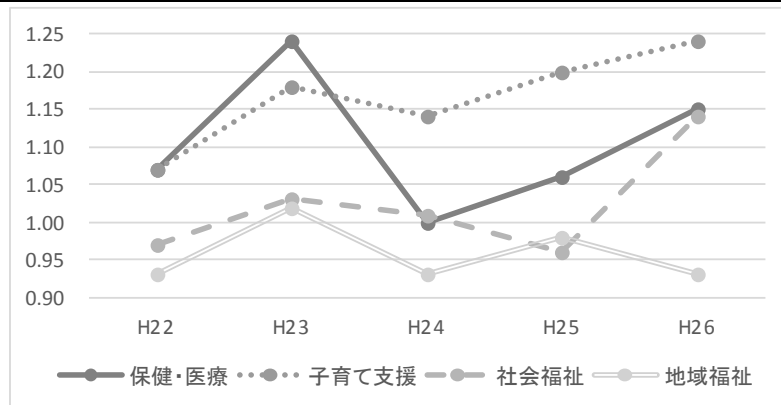
満足度	H22	H23	H24	H25	H26
保健・医療	3.17	3.14	3.34	3.29	3.15
子育て支援	3.14	3.12	3.18	3.25	3.11
社会福祉	3.08	3.11	3.15	3.21	3.02
地域福祉	3.07	3.03	3.10	3.09	3.01



重要度	H22	H23	H24	H25	H26
保健・医療	4.24	4.38	4.34	4.35	4.30
子育て支援	4.21	4.30	4.32	4.45	4.35
社会福祉	4.06	4.14	4.15	4.18	4.16
地域福祉	4.00	4.05	4.03	4.07	3.94



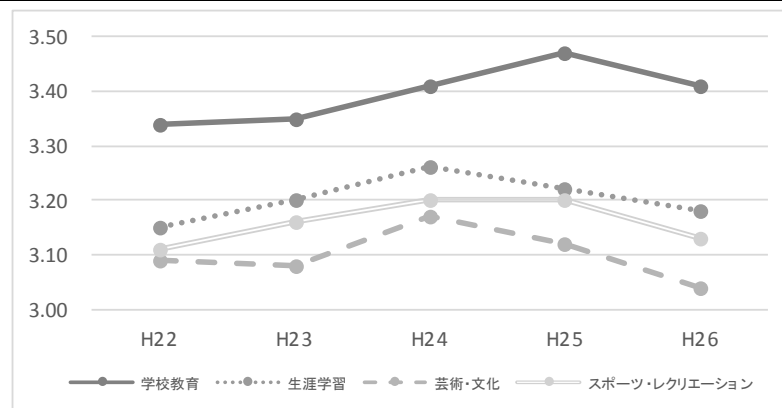
要望度	H22	H23	H24	H25	H26
保健・医療	1.07	1.24	1.00	1.06	1.15
子育て支援	1.07	1.18	1.14	1.20	1.24
社会福祉	0.97	1.03	1.01	0.96	1.14
地域福祉	0.93	1.02	0.93	0.98	0.93



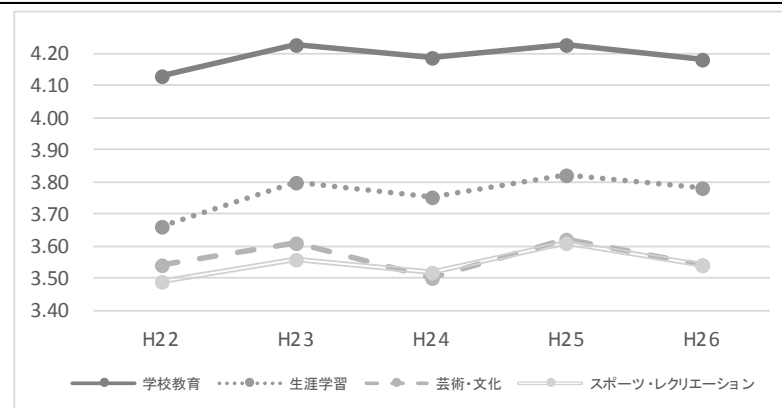
Ⅱ 未来を創り心豊かな人を育むまちづくり

「学校教育」の満足度、重要度、要望度が他の項目に比べ高く推移している。

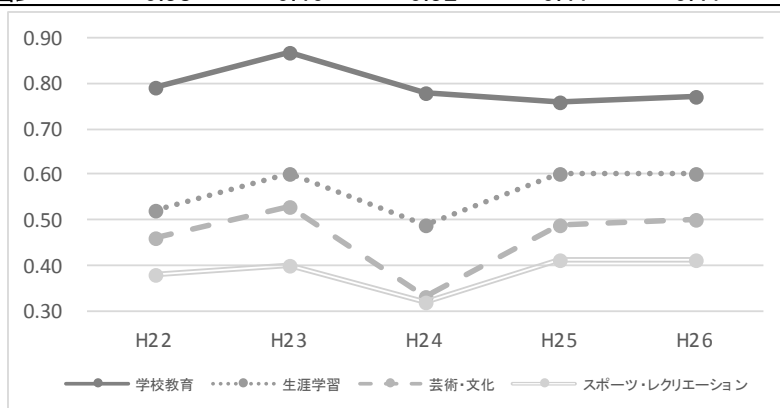
満足度	H22	H23	H24	H25	H26
学校教育	3.34	3.35	3.41	3.47	3.41
生涯学習	3.15	3.20	3.26	3.22	3.18
芸術・文化	3.09	3.08	3.17	3.12	3.04
スポーツ・レクリエーション	3.11	3.16	3.20	3.20	3.13



重要度	H22	H23	H24	H25	H26
学校教育	4.13	4.23	4.19	4.23	4.18
生涯学習	3.66	3.80	3.75	3.82	3.78
芸術・文化	3.54	3.61	3.50	3.62	3.54
スポーツ・レクリエーション	3.49	3.56	3.52	3.61	3.54



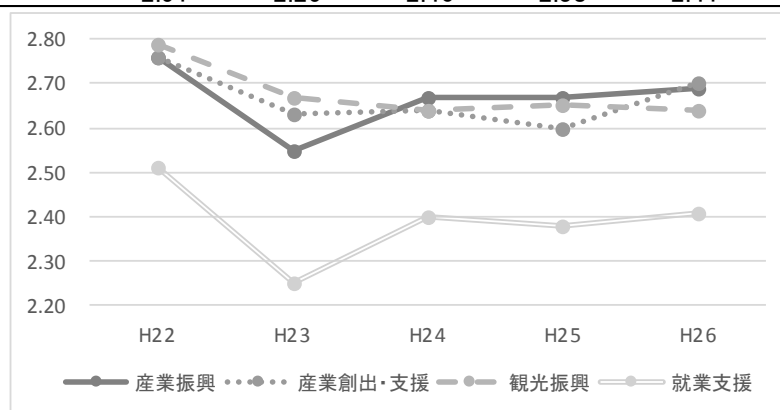
要望度	H22	H23	H24	H25	H26
学校教育	0.79	0.87	0.78	0.76	0.77
生涯学習	0.52	0.60	0.49	0.60	0.60
芸術・文化	0.46	0.53	0.33	0.49	0.50
スポーツ・レクリエーション	0.38	0.40	0.32	0.41	0.41



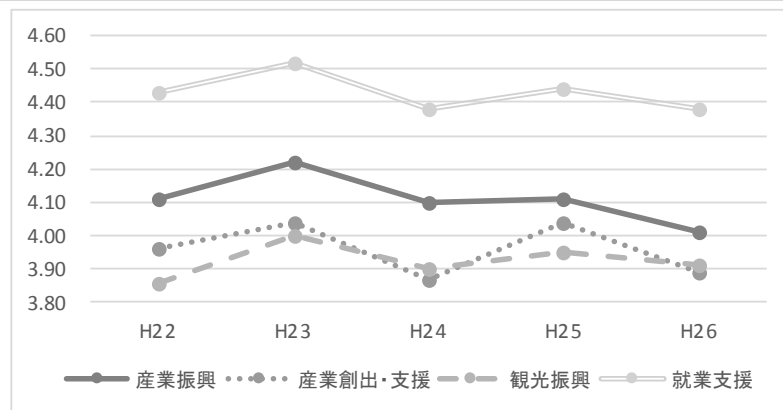
Ⅲ 活き活きと希望を持って活躍できるまちづくり

「就業支援」の満足度は他の項目に比べ低く、重要度と要望度は他の項目に比べ高く推移している。

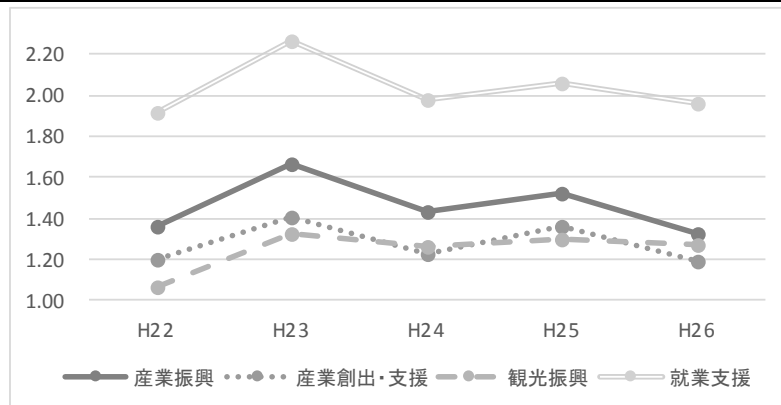
満足度	H22	H23	H24	H25	H26
産業振興	2.76	2.55	2.67	2.67	2.69
産業創出・支援	2.76	2.63	2.64	2.60	2.70
観光振興	2.79	2.67	2.64	2.65	2.64
就業支援	2.51	2.25	2.40	2.38	2.41



重要度	H22	H23	H24	H25	H26
産業振興	4.11	4.22	4.10	4.11	4.01
産業創出・支援	3.96	4.04	3.87	4.04	3.89
観光振興	3.86	4.00	3.90	3.95	3.91
就業支援	4.43	4.52	4.38	4.44	4.38



要望度	H22	H23	H24	H25	H26
産業振興	1.36	1.67	1.43	1.52	1.33
産業創出・支援	1.20	1.41	1.23	1.36	1.19
観光振興	1.07	1.33	1.26	1.30	1.27
就業支援	1.92	2.27	1.98	2.06	1.96

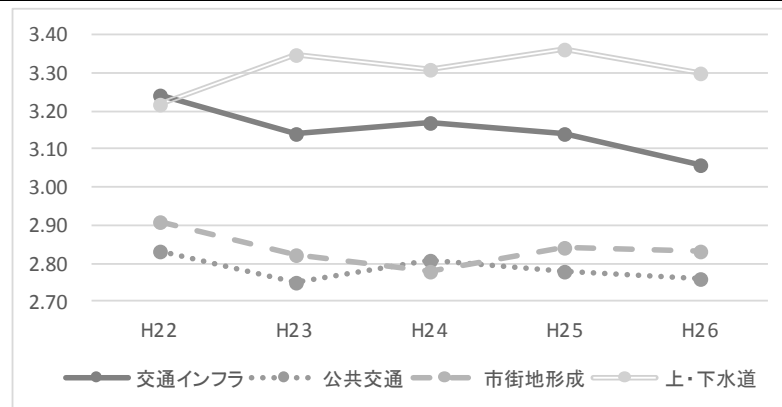


Ⅳ 生活の基盤が整ったまちづくり

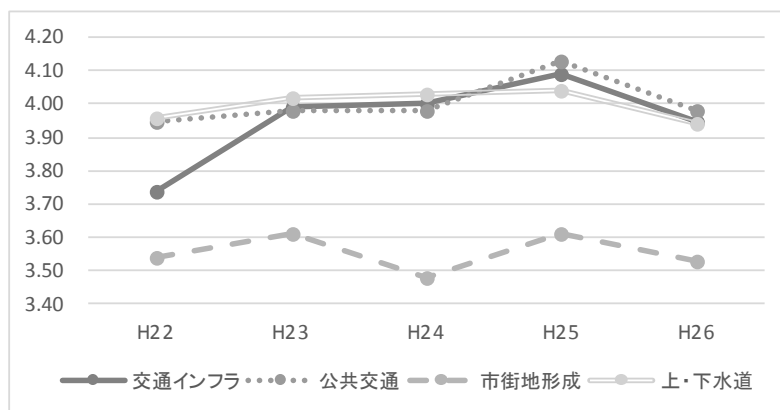
「交通インフラ」に対する満足度が年々減少し、「重要度」「要望度」が増加傾向にある。

「上・下水道」の満足度、「公共交通」の要望度は他の項目に比べ高い。

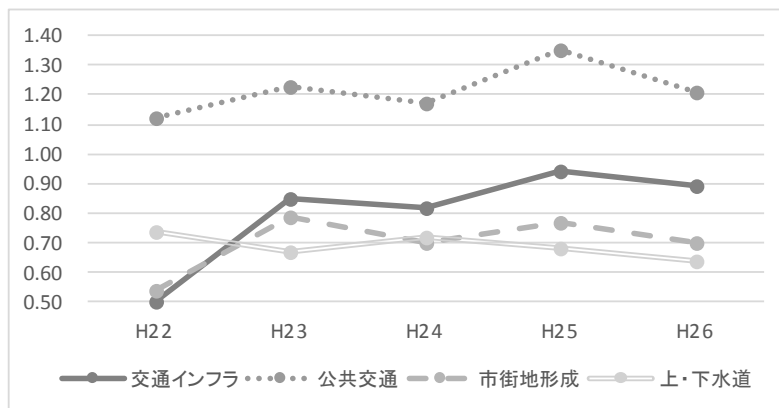
満足度	H22	H23	H24	H25	H26
交通インフラ	3.24	3.14	3.17	3.14	3.06
公共交通	2.83	2.75	2.81	2.78	2.76
市街地形成	2.91	2.82	2.78	2.84	2.83
上・下水道	3.22	3.35	3.31	3.36	3.30



重要度	H22	H23	H24	H25	H26
交通インフラ	3.74	3.99	4.00	4.09	3.95
公共交通	3.95	3.98	3.98	4.13	3.98
市街地形成	3.54	3.61	3.48	3.61	3.53
上・下水道	3.96	4.02	4.03	4.04	3.94



要望度	H22	H23	H24	H25	H26
交通インフラ	0.50	0.85	0.82	0.94	0.89
公共交通	1.12	1.23	1.17	1.35	1.21
市街地形成	0.54	0.79	0.70	0.77	0.70
上・下水道	0.74	0.67	0.72	0.68	0.64

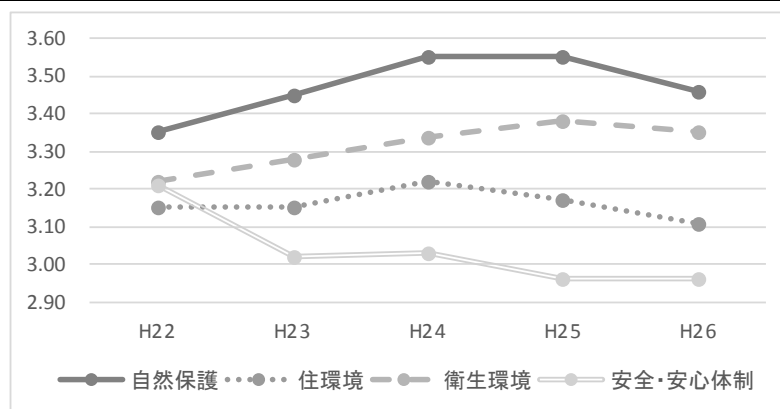


V 環境と調和し快適で安全に暮らせるまちづくり

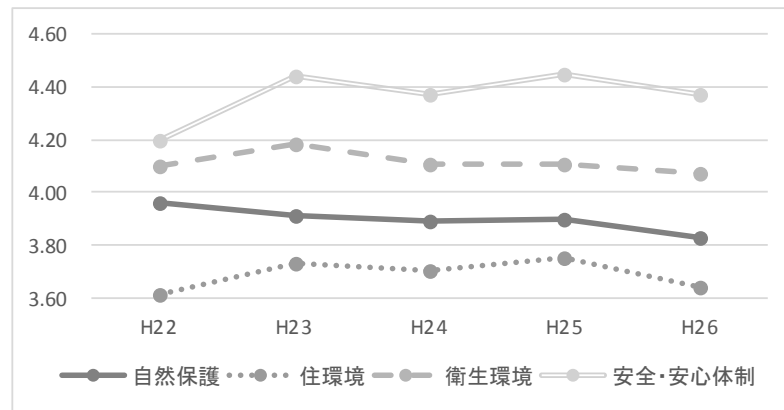
「安全・安心体制」に対する満足度が年々低下し、重要度、要望度が上昇している。

その他の項目についてはほぼ横ばいで推移している。

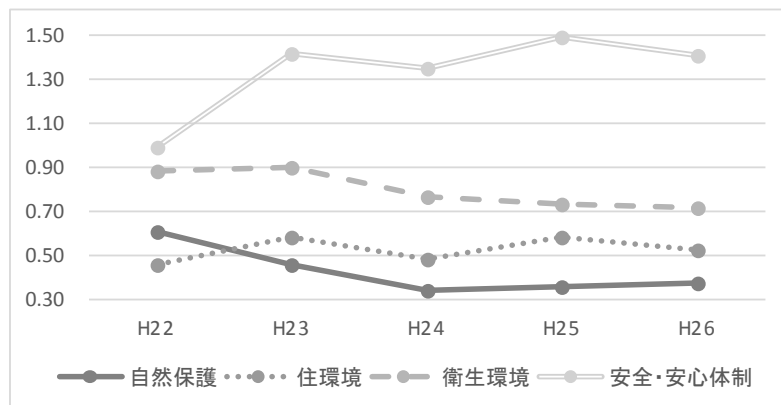
満足度	H22	H23	H24	H25	H26
自然保護	3.35	3.45	3.55	3.55	3.46
住環境	3.15	3.15	3.22	3.17	3.11
衛生環境	3.22	3.28	3.34	3.38	3.35
安全・安心体制	3.21	3.02	3.03	2.96	2.96



重要度	H22	H23	H24	H25	H26
自然保護	3.96	3.91	3.89	3.90	3.83
住環境	3.61	3.73	3.70	3.75	3.64
衛生環境	4.10	4.18	4.11	4.11	4.07
安全・安心体制	4.20	4.44	4.37	4.45	4.37



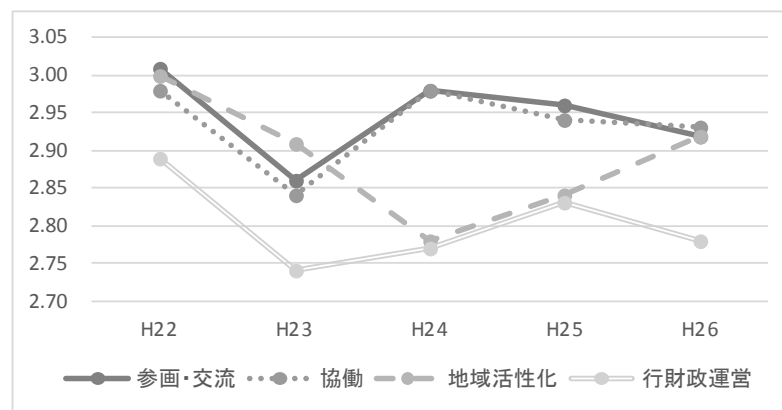
要望度	H22	H23	H24	H25	H26
自然保護	0.61	0.46	0.34	0.36	0.37
住環境	0.46	0.58	0.48	0.58	0.52
衛生環境	0.88	0.90	0.77	0.73	0.72
安全・安心体制	0.99	1.42	1.35	1.49	1.41



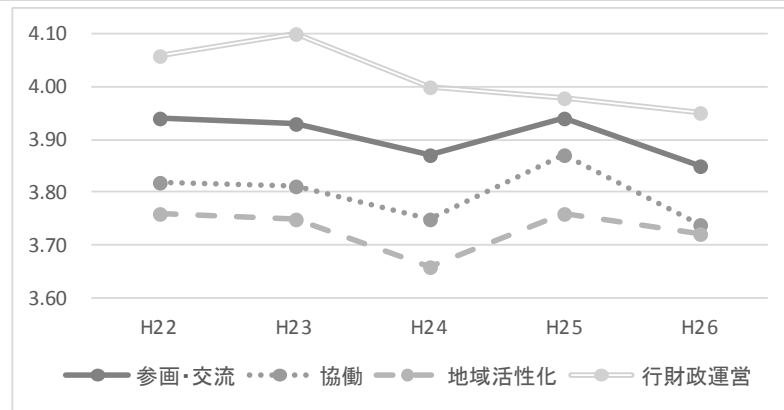
Ⅵ 仲間とふれあいともに活躍できるまちづくり

「行財政運営」に対する満足度は毎年低い傾向にあり、重要度と要望度は高い傾向にある。

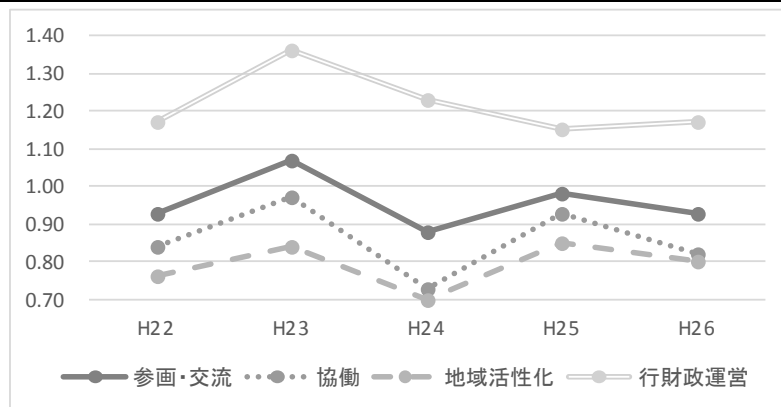
満足度	H22	H23	H24	H25	H26
参画・交流	3.01	2.86	2.98	2.96	2.92
協働	2.98	2.84	2.98	2.94	2.93
地域活性化	3.00	2.91	2.78	2.84	2.92
行財政運営	2.89	2.74	2.77	2.83	2.78



重要度	H22	H23	H24	H25	H26
参画・交流	3.94	3.93	3.87	3.94	3.85
協働	3.82	3.81	3.75	3.87	3.74
地域活性化	3.76	3.75	3.66	3.76	3.72
行財政運営	4.06	4.10	4.00	3.98	3.95



要望度	H22	H23	H24	H25	H26
参画・交流	0.93	1.07	0.88	0.98	0.93
協働	0.84	0.97	0.73	0.93	0.82
地域活性化	0.76	0.84	0.70	0.85	0.80
行財政運営	1.17	1.36	1.23	1.15	1.17



※「行財政運営」については平成 23 年まで「市政運営」と表記していました。

2.4 自由記述の類型化（抜粋）

市民評価に寄せられた自由意見を分野ごとにまとめた。

健康福祉分野

(1) 保健・医療について

- ガン検診のお知らせをいただくのですが、日程が平日で仕事を休めなくて、どうしても受けられません。休みを取るのが簡単でない方々も多いと思われます。日程についてもお考えいただけたらと思います。
- 保健医療に関わる職員を一人でも多く増やして欲しい。
- 私の母は現在入院中ですが医療費が高く、少し安くなる方法があればよいと思います。
- 健康に関してはスウェーデンを見習うべきだ
- 新しく総合病院が新築され、少し活気が出てきた様相ですが、遠目で見ますと活気の手がかりが病院では先が思いやられます。（併設に温泉施設、ショッピング施設等期待しておりましたが…）
 - ・高度な医療もちろん必要ですが、健康な高齢者を増やす流れを作っていただきたい。

(2) 子育て支援について

- 引っ越して来て市役所に行って、子どもの病院の一覧があるのか聞いたところ、ないと言われてびっくりしました。右も左もわからなく、困っている時とかは、本当に困ります。ネットで見られる時代ですが、大変なときは紙ベースでも、欲しい時があります。また、広報を地域の人に頼まないと、来ないことになっているのも、おかしいので全てのところに配って欲しいです。いろいろ書きましたが、よい地域になってほしい。

- 子どもが多く生まれ育つ施策を願います
- 少子化対策について

子ども1人を社会に出すまでの教育資金、それ以外に、スポ少、部活動費用など親の収入に対しての負担が大きいです。また社会に出て働くにしても自動車を購入し、自動車保険に加入しなければいけないし、一家に何台も車を所有することになります。賃金は上がらない、車税、ガソリン代の負担と都会のように電車のない田舎では生活も大変です。このように先々を見ていくと子どもをたくさん育てるというのは、かなり難しい気がします。
- 幼い子どもがいて、共働きをしているのですが、土日休み無く働いています。私たちの両親もまだ働いていて日曜日、子どもをみてる人がいません。子育てサポーターに何度かお願いしましたが、時給700円で働いて、子育てサポーターに1時間500円は厳しいものがあります。他の県、地域は少し料金は変わるけど、日曜日、祝日も保育園はやっているので、大仙市でもやって欲しいです。
- 少子高齢化となった今、子育て支援の充実が重要だと思います。優先順位を考えてまちづくりを考えていただきたいです。
- 里帰り出産で帰ってきたとき、上の子どもを保育園に入れたくても、保育料が高くて毎日行かせられなかった。
- もう少し子育て支援の充実や保障をしてもらえれば、今後自分が親の立場になる際に安心できるのかなと思います。

賃金も全国的に少しでも上げてもらわないと、妻と共働きをしても、親、子どもを養えない人たちが他にもたくさんいるはず…
- 出生率が低下している現代です。若い夫婦が安心して子どもを生み育ていける状況(経済的にも子育て支援にも)を確立していけるといいと思います。すばらしい環境に恵まれた大仙市を“過疎”にしたいくないなと思います。
- 大仙市の少子高齢化がどんどん進んでいるので、子どもが産みやすい育てやすい町づくりを！
- 中小企業や低所得者に対しても手厚い保障を！
- 幼児教育を充実させるために、幼稚園・保育園の職員にゆとりを持って、家庭的で一人一人に目を向けられるような保育環境であってほしい。

- 地域的に若い世代は夫婦共稼ぎが多いので、保育環境の拡充をお願いしたいです。保育所の数と定員制限で困った経験は私自身ありませんが、祖父母同居でないため、子どもが体調を崩し、回復期まで何日も休まなければならないとき、親も仕事を休みづらく大変でした。病後児保育をやっている小児科クリニックもありますが、すぐに定員になってしまうようなので…保育時間の延長など個々のニーズに対応できる保育施設があると子育て中は助かります。
 - 認定こども園は、もう少し考えて欲しい。2人目以降の妊娠がわかると育休などの関係で、上の子が今は退園させられる。育休だからといって、産まれたばかりの子と、上の子を見るのは、親としては非常にキツイ。保育園の中途がないのも、1月以降に入る子は、1年育休とらないと預けられない。中途がないのは、まだ我慢できるが、育休の時、上の子まで退園となると困る。せめて、上の子を継続して保育園へ入れられないのでしょうか？仕事もしているので、もう少し、働きながら育児をする親のことも考えて欲しい。お願いします。
- どこへ言うべきか分らないのですが…—
- 認定こども園の先生が保護者の間で横柄な態度と、すごく評判が悪いです。ベテランの先生のようなのですが、あまりにもひどいので改善していただけないでしょうか。
- 共働き家庭の児童の学童保育は、大変ありがたい制度ですが、4年生からカギっ子はとても不安です。せめて、もう1年でも延長していただけたら本当に助かります。共働きで、どうにか生活できる若い世帯も多いのです。
 - 少子化で子どもが少なくなっていますが、私個人の問題で申し訳ないですが農家の場合、春と秋の繁忙期に一時的に乳幼児を預けられる所があれば助かります。保育所にそんなことを受け入れてくれる仕組みを考えてもらえれば幸いです。
 - 少子高齢化による諸問題の解決が必須。地域住民がいなくては市が維持できない。生活保護等の充実よりも生活保護の必要のない社会を目指すべき。
 - 若い人たちが結婚しても給料が少なく生活ができない。少子化と言っても子どもを産むことすらできない。これが大きな「モンダイ」だということ。何

を言っても日本、発展がないと思います。住みよい町作り、これが第一だと思います。生活するにあたっていくら金があるかを考えてほしいな。

- 高齢者福祉も大切ですが、子育てはもっともっと大切ではありませんか。地域社会に子どもがいなければ、やがては大仙市が消えてしまうのでは…とさみしい気持ちです。
- 子どもが小学生の時、6年生まで学童保育ができるということで、安心して働けると思ったら、3年生の終わりに「4年生から学童はできません」と突然言われ、困った経験があります。少子化対策もいいが、成長した後どうすればいいのか悩むことがあります。どこの誰に相談したらいいのかわからない。
- 子どものマル福の対象年齢が幅広いのは助かった
- 秋田市の子育てクーポンがうらやましい
- 子どもが増えるよう考えていただきたい
- 育児待機0の施設整備、大曲地域だけでも、かなりの人数がいます。

(3) 社会福祉について

- 老人ホームをもっと増やして、困ったときにいつでも入れるようにしてもらいたいと思います。よろしくお願い致します。
- 民生委員の選び方について。
どのようにして選んでいるのか。「えっ？この人が？」と誰からも思われる人が選ばれている。仙北地域だけでなく、他地域でもだ。考えてもらいたい。
- 本当に困っている高齢者・一人親家庭により子どもが多い家庭が外食や車など裕福生活しているのが多く見られます。生活保護を貰っていて、ギャンブルしている人やペットを飼っている人も沢山います。どうにかありませんか。嫌がらせを受けて困っています。
仕事が無くて困ってます。仕事を下さい。
- 生活保護の見直し
子どもが何人もいるにもかかわらず、もらっている人がいるということを聞きました。そんな人たちより必要な人がいると思います。

- 医療・福祉・子育てについて不便不満を感じるが多々あり、将来的には市外に転居する予定
- 高齢化社会を負として捉えるのではなくプラス思考で施策をしてほしい
 高齢化にともない一人暮らしが多くて空き家も増え、東日本大震災の時の姿と重なる思いがします。そして孤独死も耳にする今日、行政はどのような考えでいるのでしょうか？ある時、市議の方に孤独死について相談したことがありました。その時そこまで考えたことがないとの話でした。身の回りに経験がないとその答えだったかもしれません。でも、もしこのような欄をもうけてくださった方、こんな思いをしている一人が住民にいることを心の片すみにおいてくだされば幸せと思います。
- 在宅介護をしているものです。色々な支援がありますが、納税者は対象外とか、でもがんばっている訳だし。他県とかそんな区別はないようだが、あと少し支援の方、認めてくれてもいいかなと不満をもらしている。除雪も若いものは（女）一人で働きに出ると、残るのは高齢者2人がいるが片方は介護者である。片方の一人が頑張っている。慰労金は差別なくしてほしい。ほんの少しのことですが、あと少しがんばっている私たち在宅介護を支援してください。介護タクシー代も身障2級だと、とても高い（医療機関まで遠いため）
- 中仙地域を過疎にしないでください！！
 病後児保育園を増やしていただきたい。共働きで子どもが病気になると保育園に預けられず、病後児保育園も人数制限があり、預けられないです。また他の子の違う病気も感染する恐れもあるので、お互い会社を休んだりなど、大変です。病後児保育園を増やし、環境改善していただくと安心して仕事をしながら、子どもを預けられると思います。ご検討よろしくお願いします。
- 生活保護受給者の就業支援・促進を行って頂きたい。低賃金で必死に働いているのに、元気で横暴なのに働かないで、自分たちよりお金を貰って、のうのうと暮している人を見ると強い憤りを感じる。
- 空施設利用（地域における介護予防拠点一施設転用等）

- 生活保護世帯の就労支援のみならず、就労支援の充実（親（高齢者）の年金で生活している子が多い。経済的虐待、介護ネグレスト等、結果的に世帯分離し生活保護となるケースが増えていると思われる）
- 老人が移動する手段が少ない
- 高齢者の医療負担を増やすべき
- レベルの高いケアマネージャーを採用すべき
- 家庭での考え方
- 一人暮らしへの支援、自殺者をなくすこと
- 一人暮らしの高齢者や障がい者にはもっと目をかけてください
- 医療と連携した施設の整備
- 在宅介護支援は納税に関係なくしてほしい
- 障がい者には、月の終りに払うお金はとても苦しいものがあると思います。

教育分野

(1) 学校教育について

- 小学生の児童が2人います。児童クラブへの申込をしたいと考えていますが、人数が少なく、入れるか不安で、仕事を続けられるか不安があるのと、3年生まで…という条件も納得いきません。せめて、高学年になる5年生までは希望です。子育てに力を入れている大仙市…と聞きますが、仕事をしながら祖父母の力を借りられない世帯には、正直不満が多いと思っています。
- 体罰問題に対する取り組みを教えてもらいたい
- 道徳教育をすべきである
- 小中学校のトイレを洋式に変更お願いします。
- 小学校で主催された「お弁当の日」の講演会に参加の機会を得ました。食を縁として子どもたちの感謝への心の成長の実例をもって講話してくださいました。私自身、4人の子どもを育てあげましたが、これからは孫への対応の在り方に大きな役割を感じてます。「お弁当の日」市内の各校では、どの様に受け止めておられるのかと、フト思いめぐらした1日でした。

- 給食の無料化。食の基本である給食を行政が大事にするべき。
- 働き方のルールに関する教育
- 教育に関してはフィンランドを見習うべきだ
- 家庭の取組み（学校でどうにかしてくれるだろうという考え）
- 小、中学校までは全国的には優秀な数値がでていますが、それだけで満足している状況
 - ・優秀な人材（数値だけではなく、人間的要素重視）を育てていく雰囲気欠ける。
 - ・若者は県内に残れない雰囲気が大。（例：公務員等定年された方が、他の事業所等に再就職は良く耳にしますが、若者に道をゆずるべき）
- 個人の良さが引き出されるようにして欲しい。誰にでも良い所があるのでスポーツ、芸術、勉強 etc
- 学校教育の実態がよく見えない。
- 今の教育はわかりません
- 学校の統合はどうなるのでしょうか
- 中仙地域は小学校 4 校、中学校 2 校ありますが、少子化で入学する生徒が少なく、特に中学校に於いては生徒数が少ないことから希望する部活動ができないため、近くの中学校に入校せず、自分の希望する学校に入校するなど、中仙地域 1 校にしても良い状態にあり、子どもたちの学力向上と総合能力向上のため、小・中学校ともに各 1 校に統合することを提案します。
- 中仙地域における、小・中学校統合の必要性
- 学校の統合化にバラツキがあると思います。大曲地域は学区の見直しが進んでいないと思います。
- 大曲地域の小学校の統廃合を早急に進めてほしい
- 閉校した小・中学校校舎のさらなる活用
- 廃校になった学校を利用し、休日に子どもたちが集まれるような工夫をしてほしい。

(2) 生涯学習について

- 生涯学習は片寄った集団が活躍する場になっている。

- 公民館を使用した際、子どもが誤って鏡を割ってしまったので、謝り、弁償をしました。弁償を申し出たのにもかかわらず、頭ごなしに怒られ、偉そうな態度に非常に不愉快でした。

使用前に何点か注意を受けました。高価な額や壺は壊すな。もちろんですが、そもそも必要なのでしょうか？障子に気を付けて…子どもたちも利用するのが事前にわかっているのだから、外して移動することだってできると思います。話を聞けば、破損したのは私たちだけではないようです。何度も同じことを繰り返しても自分たちは注意を促すだけで、後は利用者まかせ。何のための職員なのかと思いました。税金使ってるんですよ。

(4) スポーツ・レクリエーションについて

- どの地区にも立派な野球場があるが、サッカー場や陸上競技場は未整備である。それらをぜひ作って欲しい。
- 西仙北地域にウォーキングコースを作ってほしい。子どもが遊べる広場が少ない。
- 子どもが安全に遊べる広場や公園が整備されていない
- 例えば定期的にグランドゴルフの練習、大会等に弁当等の支給（国、県、市が負担）するような政策。（健康なお年寄りが増えることにより結果的に医療費に掛かる費用より安価）
- トレッキングコース、散歩コースの増設。（冬の散歩コースの除雪）
- 公園の壊れて危険な遊具の早急な修理。

産業分野

(1) 産業振興について

- 農業・建設業に従事する人口が多い地区でございます。農地整備や道路整備等は仕事に直結する事業でありますので、今後共整備拡大をお願いしたいです。

- これからの大規模農業の時代に若い人たちの参加が期待できるか、続けていくことができるのか（人手不足）すごく心配です。
- 交通弱者・買物弱者支援へのさらなる取り組みの充実
- 大仙市の農業の将来の展望は、どうなるのか。農業政策は、このままで良いのだろうか。国が進める大規模、集約型の政策では、大を取って小を捨てるようなものです。今一度、地域性や産業構造を考慮してください。僻地、高齢化ではありますが、ただ集めて大きくすれば良いでなく、山際にある圃場や小集落地など落ちこぼれの無い政策をお願いします。
- 大仙市が合併後、大曲地域中心的事業が多い。もっと山村地域の振興を考えてもらいたい。
- 地場産業が活性化しなければ商工や観光が栄える方向になかなか結び付かない様に感ずる。
都市部の区画整理も大切とは思いますが、郡部のインフラ整備にも力を傾注願いたい。
- 他県から転入した者ですが、もっと若い世代が帰って来やすいような環境作りをした方が良くと思います。もっと活気のある街作りをお願いします。
農業も衰退していった感じがします。これからの未来を（農業の）明るくするような政策をしていった方が良くと思います。
- 既存企業への支援
- 空き家・空店舗の活用

(2) 産業創出・支援について

- 企業誘致をどんどん進めて欲しいです。若者の働き口がない、再就職先が無い、厳しいのが現状です。給金が安く、働く所がない町に若者はいなくなります。過疎化、高齢化していく地域社会に楔を打つためにも、企業誘致をもっと行い、若者の他県、首都圏への流出を抑えることを真剣に取り組むべき時代になったと思っています。

- 企業誘致は市政含め市全体が活発になることと思います。ご難儀とは思いますが、優良企業の誘致をぜひお願いします。
- 2040 年には秋田県は消滅すると言われています。大仙市はその様な言われ方をしても、なんら特色の無い市政を続けるのでしょうか。老人偏重の福祉もそろそろ脱却し、若い人が大仙市を離れたくないと思える市になってほしいです。（大学・企業の誘致等）
- 再生エネルギー事業へ取り組むべきです！！
木質バイオマス発電
小水力発電
- 大仙市の人口減少に対策が必要である。若者が定住するには地元働く場所が必要。企業誘致等、会社をよびこむべきです。
- 「企業誘致の強化」は最低の案、工夫もない

(3) 観光振興について

- 花火大会しかない市ではダメだと思います。他にも観光資源がないか見直し、いろいろと思考錯誤必要だと思います。
- 大曲は花火なら、中仙はドンパン踊りがあります。年々踊り手がいなくなり、困っております。もっともっと、さらにもっと踊り手を多くなるように市の方で協力お願い致します。
ドンパンは、踊ると、とても楽しい1日を過ごせます。ドンパン踊る方はみんな幸せになれますよ。
- 提案：「大曲の花火」以外の観光資源を育成するため、商工観光課の業務から花火関連業務を分離させること。花火業務を統括する「花火課」を設置すること。
理由：商工観光課から花火関連業務を分離させ、他の観光資源を発見、育成する組織体制を整えるべきだと思います。また、「花火課」を設置することで大仙市が誇る「花火」という資源の良さをさらに磨き、深めることができます。花火産業構想の推進も控えていることから、このような体制を万全にしていきたいと思います。

- ・市内に温泉施設を
 - ・商業、農業、地元産物をもっとアピール
 - ・福島の方々を花火大会に招待してほしい
- 今現状だと、大仙市は「大曲の花火」以外名前を売るものがない市だと思っています。しかもその花火ですら、市の名前を広げるためにイマイチ活用しきれていない感もします。大仙市の一番の名刺となるように「大曲の花火」をアピールすべきだと思います。地域住民の人柄などは、割りと良いと思っていますので、住民と花火に來た人々とのコミュニケーションの共有によって、リピーターがもっと増えて、いずれは花火当日のみ人がいっぱい市ではなくってくれるように思います。
花火を観光資源としてもっと活用して欲しい。
- 大仙市はもっとイベントを増やしていったらいいなと思います
- 子どもたちが安全・安心に遊べるような大型の公園やレジャー施設がほしいです。まるこの広場や各地域の公園を利用して休日を過ごしていますが、もうすこし規模の大きな（秋田児童会館やふるさと村のような屋内施設でもいいですし、雄和のアスレチックのような屋外施設でもいいので）子どもたちの遊び場があると、とてもいいなと思います。
- 特産品（含 農産物）行政の品質保証と積極的 PR（トップセールスも）
- 「大曲の花火」以外の観光資源の育成・価値創造

(4) 就業支援について

- 中高年の仕事不足している
50 歳代の仕事につけない
- 若い世代の方たちの就職問題を考え、県外に出ることを考えることでなく、地元で安心して生活できるような県にしたいと思います。
- 若い人たちが、もっと働ける街。若者が住みやすい街をつくってもらいたい。
- 市民として率直な意見を申し上げます
60 才定年後再雇用者が見受けられますが、国が進めている年金受給引延ば

しの策を真似ているかもしれませんが、市財政が苦しい時期その必要はないと思われますので、来年度からは廃止してください。若い人たちが、楽しく働ける会社を作って欲しい。パートでなく、社員として長く働けるようにお願いします。

- 地元に残りたくても、仕事が無いため、市外や県外へ出て行く若者が沢山いると思う。若者の雇用創出に力を入れてほしい。
高齢化が進んでいるので、社会福祉の充実に力を入れることは良いことだと思う。しかし、だからと言って若者のことは後回しにするような市政では若者が市外や県外へ出て行ってしまうため、高齢化が更に進んでしまう。若者が大仙市に残りたいと思えるような市政を行ってほしい。
- 大仙市はこれから後期高齢者社会となります。高齢者の雇用促進もはかるべきではないでしょうか。
- 子育て支援も大切でしょうが、それよりも子どもを育てる親の職場（雇用）の充実の方が優先課題なのではないでしょうか。
- 地元で働く所がないので、他の地区まで行っているのに、どうしても車がないと働きに行けないし距離があるとガソリンも大変だし、車も早くダメになるし、若い人も働ける場がなかなかない。先が不安。

都市基盤整備

(1) 交通インフラについて

- 八乙女公園道路の積雪ポール、夏なのにまだ付いています。
- 道路の線が見えづらく、左に行くレーンなのか？と思うので、線を引きなおして欲しいです。
- 自転車（サイクリング）道の安全確保の道路整備及び補修を期待します。
- 大曲駅前の再開発に力が入るのは良いことかもしれないが、どうもそっちはばかりに注力しているように感じられ、正直不平等感が拭いきれなく思われる。せめて各地域の主要道だけでも良いので、傷んでいる舗装を直してもらいたく思う。
- 環状交差点（ラウンドアバウト）を増やしたら良いと思います。

- 大規模な道路網整備など税の無駄遣い、自然環境の破壊と建設利権を生む
- 舗装道路の全面修理（道路が割れている）と駅前開発と併せて市外地とのバランス的な住みよい町づくり。

大曲駅前周辺のみが振興開発されていて、地方部分にはほとんど開発のメリットが届いていない。きめ細かな行政運営を望みます。

- 大曲駅周辺の再開発に多くの予算を投入し、他の地域はおざなりな状態。駅前に金をかければ人が集まると思っているような発想は、秋田市と同様で時代錯誤。車社会の人の流れは小手先の対策では変えられない。

(2) 公共交通について

- 羽後交通のバスや列車を大いに活用した方が良いと思う。
バスは1つ、2つ目のバス停区間でも利用するよう、促しても良いのではないかと思う。また、通勤、通学でも利用してもらえやすく、時間を変えたり、路線を変えたり、駅の入口までバスが行くようにしたら良いと思う。
- 乳幼児健診が仙北保健センターで行われていますが、（中仙地域）運転免許が無い人はどうやって行ったらよいでしょうか？
タクシーだとお金がかかるし、赤ちゃんを連れてバスを乗り換えて行くのは、かなり困難です。
- 交通手段を持たない老人が困っていると思います。
- 病院行き、リムジンカーとか、あればいい（駐車場不便、よりあいバスとか…）
- 循環バスは大曲地域だけ優先されている

(3) 市街地形成について

- 新幹線スイッチバック式による乗り入れ、今回の病院の駅前建設も市の活性化には効果が期待できそうもないと思われる。より広域的な視点で市政、町

づくりを進めてほしい。とりわけ農村部の疲弊は大きいから。市内循環バスより、より広範囲に渉る環状線バスはどうか。百年の大計として、駅前通を拡幅し一方通行（片側）を解除した状態を夢見たいと思います。

- 市長はじめ市職員皆様の日頃からのご努力に市民の一人として、心から感謝しております。近年一番関心を持っていた、大曲厚生医療センターを核とする、駅前再開発事業計画も順調に進んでいるように見受けられ大変に喜んでおります。大曲駅前の活性化が、大仙市にとって最も重要な課題だと思っておりますので、さらなる事業の展開を希望・期待しております。市政の益々の発展を望んでおりますので、職員の皆様のご活躍を期待しております。
- 銀行の支店を作って欲しい
- 駅は無料大型駐車場を作ったり、駅前の住民が気軽に利用できる公園や集会所を駅前に移動して、駅前のにぎわいを作ったり、通勤、通学で利用しやすくしたら良いと思う。会社との関係で大変だと思うが。大曲地域だけでなく、他の地域の開発もお願いします。
- 大曲地域だけでなく 8 市町村すべて！！
- 大曲地域に力を入れている。他の地域にも改善すべきところがあるのでは。
- 大曲地域だけでなく郊外にも十分な配慮を

(4) 上・下水道について

- 上水道の整備は必要と考えます（市内全域）
- 私は高関上郷に住んでいます。旧国道には上水道がやっときましたが、農道という上のほうは上下水道が今も通っていません（市の水道）。また、市道に隣接した私道は砂利道で舗装するにも自己負担がしいられます。秋田市などは、市道に隣接した私道舗装には補助金が出るのですが、わが大仙市にはそのようなものはないと言われました。ぜひご検討ください。
- 市で管理する水道が通っていない地域に住んでいます。水道を引くのにかなりの工事・金額がかかるので市で水道を通してほしい。
- 水資源の確保

- 問1「IV生活の基盤が整ったまちづくり④（上・下水道）」は上水道と下水道を分けて考えるべき

環境・安全分野

(1) 自然保護について

- 建築物の省エネルギー対策が甘すぎる。
- 「森林の維持と保全」とは、伐採して使用するという意味ですか。持続的な保全とは、保護とは違います。

(2) 住環境について

- 市外から大曲に住んで45年になるのですが、冬以外はとても良い町、住みやすいと思っております。
- 若い人が住みよい町づくりをお願いします
- 南外にはスーパーがなくなっていまい買物が不便、個人経営のお店もあることから市に助けてもらい、町民で話し合って少しでも便利になるようにしてほしいです。よろしくお願いします。
- 上下水道の整備、私道の個人負担の見直し（舗装）、リフォームの促進
- 無料で使用可の公共無線LANの急速な普及、それを進めれば少なくとも他自治体の一歩先を行ける（会議などインターネットで十分だ。出張など不要。）
- 市営住宅（大曲地域）はどこも古いです。福見町の様なリフォームではなく別の方向性を考えるべきではないでしょうか

(3) 衛生環境について

- 横手市はゴミの分別の仕方をくわしくゴミ置場を書いてあるのに、大仙市は何をやっているのか ゴミの分別の書き方がいい加減である。
その上、簡単な分別方法しか書いていないため、よくわからん。
大仙市！！ しっかりやれ！！
- ごみ袋の有料化と関係あるのか分りませんが、決まって真っ黒な煙を出して、ごみを燃やしたりして迷惑している住民がいることを知ってほしいです。うっかり、洗濯物を出しておくこともできません。隣のことで、気まずくなるのがいやで、言うこともできません。
- ゴミの処理についてですが、年々、ゴミの仕分けが厳しくなるにつれて、他の地域の人が仕分けしきれないゴミを私たちのゴミ集積所に捨てていくことがあり、大変迷惑です。もう少し簡素化して欲しいです。
- ゴミ処理の熱を利用するインフラを整備してほしい。
- ゴミ分別について
今年からゴミ分別が変わったが、服のリサイクルの日もできて良かった。クリーンセンターが月 1 回しか開けない日曜日を期間限定で（例えば 4 月～10 月）月 2 回 第 1 第 3 日曜日にしてほしい。
- ゴミ処理の「熱」分野の利用
- 大仙市はゴミの出し方の説明が全くダメである！！もっと、詳しくゴミの分別の仕方をゴミ置場を書いてほしい。分別の仕方がわからないで出しても（収集できません！！）とかなないように。

(4) 安全・安心体制について

- 除雪について…大仙市の除雪はすばらしく良いと思う。
- 除雪がすばらしく行き届いていて住みやすいということを他の町の人にアピールしてはどうか。また除雪が完璧な住宅地（除雪車、融雪設備、道幅、隣の家との間隔、雪捨て場、雪の捨て易い家などが整った）を造り売ってはどうか。

- 除雪車が通ってからの各家の入口除雪が大変。秋田市では除雪車の後に 2、3 人の人夫が来て人間が通れる位のスペースは除雪していくとのこと。参考にされてはどうか。
- 毎年、冬になると、雪の捨て場所がなく困っています。除雪も、もう少し、時間が早いせいか、たまに意味ないときあるので、なんとかしてほしいです。（仕方ないこととは思いますが…）
- 除雪の見直しが必要だと思います。予算・業者への支払い、除雪の品質について業者へ、まかせっきりでないでしょうか？又、春になったら除雪での不具合がなかったか確認をして欲しいです。田んぼに石、アスファルト等たくさん落ちています。
- 消雪のための流雪溝はありますが、雪塊がつまりやすく、使用時間も限られているため、改良していただけたらと思います。
- 融雪していただいているのは助かるが、場所によっては、水の勢いが良すぎるところもあり、歩行者に水がかかるのではないかと、というところもあるので調節していただきたい。
- 勤務先が秋田市内なので、なかなか大仙市内のことを詳しくは知る機会ありませんが、たまに実家（大曲地域）などへ行くと、街並みが整備されていたり、道路が新しくできていたり、すっかり変わっているのがわかります。ただ除雪について、高齢者世帯や女性だけの世帯などへの支援があればいいと思います。（ボランティアか冬場の雇用にもなるのでは）
- 高齢者宅の雪下ろしの不安解消
- 除雪車の技術に差がありすぎる。市役所の担当の方には、見回って現状を把握し、注意をうながしてほしい。
- 数センチの積雪時の除雪はムダ
- 女ばかりとか年寄りの家は冬、本当に大変で命の危険を感じる
- 高齢化による除雪は大変なものがある。若者と同居しても仕事に出ればひとり暮らしと同じく頑張らなくてはならない
- 南外地域としては、大仙市になってから予想はされていましたが、除排雪の不便さが増大しました。以前は朝 5 時頃には道路整備されておりましたが、現在は違います。予算等の問題もあるとは思いますが、通勤等で市内へ出か

ける方が多く、市の除雪の時間が遅いと、家の周りを片付けた後に来ることが多く、道路との境目の除雪が出来ず、また、早目に出かける時は除雪されていない道路を走行しなければならず、不便なため、改善をお願いしたいです。

- 除雪作業、大変とは思いますが、もう少し道路が広くなるよう除雪していただけないでしょうか。地域によっては車一台通るのがやっと、という場所もありました。あと、自分の住んでいる所が後回しなだけかもしれませんが、早朝勤務のある身としては除雪が遅いようにも感じます。
- 除雪と春先の道路整備
- 融雪電源の支援等（工事代金含）
- 私が一番望む事は、冬場の道路の除雪です。道路脇に積み上がっていると、細い道から広い道に出て行けません。また、消雪されている道と、されていない道路の段差がひどく、車の運転が大変です。大仙市は雪が多い土地なので、住民が冬場いかに歩きやすくなるか考えて頂ければ幸いです。でなければ全ての道路、消雪されるようになったら良いのですが…予算が出ないでしょうけど。
- 積雪地域なので、仕方無いと思いますが、春になると道路がボコボコで、風景が“疲弊している”と感じてしまいます。公園の遊具なども雪のため疲れ、くたびれている感があります。地域の風景が活性しているように見える環境作りを希望し、期待しています。
- 生活安全道路の整備を昔からお願いしている場所について、全く事業として取り上げてもらえないので、なんとかしてもらいたい。児童・生徒の交通安全上、非常に問題がある。予算がつかないので待ってくださいと言われてるが、最優先でやるべきことだと思う。
- 学校から部活の練習から帰る子どもたちには暗くなると危ないと思うので、もっと明るくして欲しいです。
- 歩道及び横断歩道の整備
我家は幅 12m の幹線道路に面していますが、この道路には、歩道がありません。そのため小学生、中学生の子どもたちは往来する多くの車の危険を感じながら通学しております。また当方の孫たちが通って帰る、向かい側からは横断歩道も無い始末です。危険と思いせめて速度制限でもと各所に問い合わせ

せてみたのですが、県の管理だからとか、色々諸問題が立ちはだかり窓口すらはつきりできないままそのままになり数年になりました。できれば押しボタン信号機等の設置等を考えてほしいものです。

- 生活道路の整備をしっかりと行ってほしい。子どもたちの通学路は特に！
支所に行っても大事なことは本所に行かなければ手続きが取れないのはおかしいと思います。何のための支所なのか…何ごとも支所等で手続きが取れるようにしてほしいと思います。わからない職員はいりません！
- どんどん新築の家が増えている幸町です。まだまだ街灯が不足していて、夜になると暗い所が多いです。又、各家の垣根や木々が道路に伸びて街灯があっても木の葉で明かりがほとんど無い所があり怖いです。夕方～夜にかけてあちこちからジョギングの方々が歩いています。市の方で日が暮れてから、点検、見回りして欲しいです。
- 街灯のない場所が多い（市内以外）
- 道路にもっと街灯を付けて、自転車走行を明るくしてください。自転車で学校から帰る子どもたちが危ないことのないようにして欲しいです
- 特に大雨がふれば災害が起きるため池が有り、赤い旗が立っております。災害が起きる前に、排水等の工事をやっていただきたい。
- 淀川の川の増水による水害対策（毎年の水害）に堤防を早期に作ってもらえるよう県等に要望してもらいたい。毎年の様に増水して田んぼは水没（年2～3回）小屋まで水が上がってくる状況です。土地の低い部落は道路も冠水して孤立している状況です。早期に淀川、川の堤防を作ってもらいたい。安心した生活ができない。
- 異常な気象により近年の除雪対策がとても重要だと思います。地域により除雪のレベルも色々なので、特に力を入れての対策を望みます。
- テレビ、新聞による情報が（事の良し悪しにかかわらず）ほぼ全てという住民が多すぎる。東日本大震災では自治体提供の緊急情報が人命に対し必ずしも良い結果とはならなかった事例が多くある。韓国のフェリー沈没など日本ではありえないと思っている人々が余りにも多い事に驚きを禁じ得ない。公共無線 LAN の普及は情報弱者の氾濫に歯止めをかける一石となるかもしれない。テレビ、新聞による情報呪縛が解ければの話だが…

- 大震災の時、秋田県知事と我が大仙市長が、いち早くガレキ受入れを表明し実行したことを誇りに思っています。
- 空き家対策も、もっと対応に則して行動を迅速にしてほしい。
- 空き家、空地の場所を市の方でチェックして持ち主に対して、管理の指導していただけたらよいと思います。回りの住人が迷惑しているため
- 市内の廃屋の多く目立様になり、この処理は今後の市の行政に大変な害を及ぼす事と思われます。いかに地域住民の手を借りることを、どの様な方法で地域住民のボランティアで安価に仕上げて行けるかが、課題ではないでしょうか。
- 問1「V環境と調和し快適で安全に暮せるまちづくり④（安全・安心体制）」は消防・防災体制と雪対策を分けて考えるべき
- 近所の桂公園に高校生が夕方から夜まで、ずっといて、タバコを吸っているのを見ました。警察と連携して、もっと安全で住みやすい地域づくりをして欲しいです。目撃したときは、声をかけませんでした。今は物騒なので、刺されたりしたくないので、見回りをしてください。
- 近くのコンビニエンスストアでは、午後11時半頃に中学生らしき男2人女2人で買物し、普通に店員は売っていました。親はいませんでした。ちょっと配慮が足りないと思った。
- これからは農作業の為の機械も道路に入るので危ないと思っています。

地域情報・交流・行政運営分野

(1) 参画・交流について

- よく「どんと恋」などのマチコンをやっているようだが意味がないと思う。
参加者から聞く話だと、
 - ・既婚者も多数参加している
 - ・遊び目的の者が多い
 - ・人数が多すぎる など
 本当の婚活支援を目的とするならば参加人数を10～20人程度にし、真剣に相手を探している人を対象に行うべきと思う。

- 真剣（真面目）な話ですが、このアンケートにも子育て支援又は参画・交流の設問項目がありますが、県内は少子化対策が騒がれていますが、市長はじめこれに携わる部署関係者はどう考えているのでしょうか？県内の人口が減少すると県内ニュース等でありましたがね、実は私も見合いや結婚をしたことが無く跡継ぎが欲しいと思っています。昔の様に仲介者がいると未婚者が少なくなると思います。税金徴収だけが役所の仕事では無いと思います。この件を真面目に考えてください。
- 晩婚対策について、婚活を旧市町村単位で行ってほしい。若者が積極的に活動できるような仕組みを考えてほしいです。
- 中心市街地の活性化とは高齢者のためだけにやっているのでしょうか。駅前には医療関係、飲み屋街で若者が行こうと思える町づくりではないように感じます。花火商店街に若者が集まるのはドリンクテーリングや街コンくらい？日中に集まることなんてあるのでしょうか。
市役所に若い職員の方もたくさんいるでしょうから、若い人の目線で面白いイベント発案してくれることを期待しています！
浴衣のイベントあると楽しいです！
- 若い人たちの結婚がなかなか出来ていない。これも生活の場が不安定のためである。
- 地域内の人たちで、集まって楽しめるスポーツやレクリエーションを増やし、老若男女問わず幅広い人たちが楽しめるような触れ合いがあると良い
- 男女共同参画は婚姻率低下の一因
 - ・ 20～30 代はどうしても現状では給料が少なく将来不安（こどもを育てるお金、時間）につながっている。
 - ・ 積極的に若いカップルを後押しする政策、雰囲気重要。（最重要課題）
 - ・ 広報に婚姻・誕生の記事記載。（もちろん個人情報の確認をされた方の記載）
 - ・ 20～30 代まで家を新築した場合の大胆な補助金制度。（国、県、市）
 - ・ 若者（高校生～30 代）の直接的意見を反映させる。

(2) 協働について

- 市として自治会をもっと活用してほしい。例えば、市への要望、市からのさまざまな活動の要請など、自治会を通して行うことにより、個々人の考え、思っている事が市政により反映されるのではないのでしょうか？考慮してほしいと思います。
- 当町内会は3年に1回、1年間 広報だいせんを5～6軒分を配布しております。他の町内は市より委託された方が、委託料を頂いて配布しているとのことでしたが、町内によって配布の方法が違うのでしょうか。

(3) 地域活性化について

- 地域枠予算の使い方を柔軟にしても良いのでは？
中仙・仙北・太田地域については、産業及び都市基盤整備が遅れているように思われます。大仙市全体を考えていただきたいです。
- 回りが皆年老いて声かけるのに大変な時代。自治会とかの朝仕事に参加するの大変です。子どもに声かけても、しらんふり、横向いて歩く。どんな声かけるとよいか声かけられない。厚生医療センター、3回行きました。明るく気分よく声かけてくれ、安心して最後はここに入るんだと思いました。花火道路もっとにぎやかに出来ればいいなと思います。
- 人口減は進んでしまうが、地域間のバランスを取れるようにしてほしい。

(4) 行財政運営について

- 職員の資質について
 - ・ もっと庁舎内で徹底して話し合い意識向上を図るべき
 - ・ 「あいさつ」の励行、実行（あいさつのできない職員は首も考えよ）
 - ・ 市民憲章を職員へ徹底、教育すべき、誇りと責任！
- 花いっぱい運動は中心部で良い
市の中心部はとても良く目が届いているが、市との境はとてもひどい状態だ

と思う。

職員の方はもう少し自分の目でしっかりと確かめてください。

- 日常の業務に励まれております皆様には感謝申し上げます。市関係への用事で施設利用の際の職員の方々の丁寧な対応はとても気持ち良く感じられます。
- 市職員の業務改善
- 現在のサービスの質を維持していただければありがたいです。
- 職員一人一人の資質向上、支所の職員、公民館の職員資質向上
- お役所仕事の流れは、現在も変わらないのかなと感じる。もっと民間的なサービスのできる部署もあるのでは。また、市民の苦情処理の場所になっているのではと心配です。
- 職員の資質向上をもっとはかること。わからないので、聞きに行くと、「勉強してから来い」とパンフレットを渡すだけの職員もいる。
- 市政に関しては、良くやっているのではないのでしょうか。
- 庁舎に夜遅くまで電気がついていますが、ムダな電力を使用しているのではないですか？本当に残業をしなければならないのですか？消費税は増税されたのに、公務員は関係ないのでしょうか？
- 定められた業務だけではなく、住民の立場に立った改善・提言を、一人一人の職員も意識してもらいたい。
- 市役所職員の対応について
とある支所の一部の方、横柄な対応、直すべきだ
- 市の職員採用については、大学生中心から半数は地元高校生の採用が望ましい。
- 提案：大仙市職員採用パンフレットの作成し、市の内外、特に秋田県外から優秀な人材を確保すること（市職員採用活動の強化）。
理由：私が大学時代は大学に他の県や市からの人事担当が説明会を行いに来たりしたものでした。ぜひ、大仙市の職員採用活動も県外国立大学での説明会、採用パンフレットの作成など「攻」の姿勢で行っていただきたいと思っています。より良い人材の確保に期待します。

- 地域要望を提出しても、回答が検討中との回答、この回答でいいの？
要望した事が出来るのか、できないのかはっきりした回答がほしい。
ほとんどの回答が検討中の返事？
- 地域密着型の行政とはほど遠くなった気がします。支所の窓口ではほとんど結論が出ず、本庁におたずねのことばかり、タライ回しとはこのことかと思ったことがありました。
- 小さな声にも耳を傾け、同じ立場で状況を見てくれる市民サイドの職員でいてくれる事をお願いします。態度が横柄なお偉いさんには話しをする気にはなれません。
この大仙市には、誇れるものがたくさんありますが、うまく PR されていないように思います。さまざまな角度から見てください。
- 国保税の軽減を望みます。
- 税金が高い、年金額が少ない等 高齢者は皆生活に不安を感じているようです。いずれ自分たちもその年代になりますが、やはり不安です。
- 市民税が高いですが安くなることはできますか？
- 大仙市ならではの行政運営が見えていません。難しいとは思いますが、何か一つ、例えば、ごみの減量化日本一とか、思い切ったやり方をしたらいいかがでしょうか。
- 毎月配布される広報は、市政の情報等掲載されていて見やすく、読みやすく、とても分かりやすいので関心を持って読ませていただいています。
今 私たち 70 代は昔より比較的、健康で若々しい人たちが沢山います。その人たちの積み重ねた人生経験を生かした何でもないような、じっちゃ、ばっっちゃ並みの人の役に立つ、何かがあればいいなー。若い人たちの役に立つこととか、地域の人たちの笑顔になることか…考えています。
- 若い人たちが暮せる町にしてください。仕事がないと県外に出て行ってしまいます。遊ぶところがないと生きがいがありません。公務員さんと民間の給与の格差があるように思います。税金を喜んで払えるように使ってください。
- 大曲地域以外にも、予算をつけて欲しい
2. 予算をこれからも長続きする様考えていただきたい
- 情報発信をもっと強化して欲しい。

- 行政や地域の取組みに興味を持たない人や難しくてよくわからないという人に向けて、よりわかりやすく身近に感じられるような説明をしてほしい。
(私自身、専門用語などが多く難しい内容で、とっつきにくいイメージから、なかなか関心を持ってないので…)
- 街づくりに不満はないが、根本的問題で、このままでは大仙市は消滅するのではないかと危惧します。少子化、人口減問題を解決できなければ（できないでしょう）商業的に経営はできなくなり、行政も行き詰まるでしょう。この広い地域にばらばらに住んでいては一人当たりに掛かる公費は莫大になります。歳入が少ないのに支出が多くなれば夕張化するのは当然です。よって、住宅地、商業地を一点に集め、農村、山間地に住ませないようにしなければやっていけません。市町村合併だけでは本当の効率化は進みません。
- 市民参加型の行政に取り組んでいる事は評価する今後も続けてほしい
- 秋田は最低賃金も低く、生活が大変。弱い者はいつも悲しい。役所の人にまで個人の悪口を言われるのは、本当に貧乏だからなのか、女だからなのか。弱い者いじめしないで欲しい。部落内の人に個人のことを漏らさないで欲しい。そのために部落からも貧乏人扱いされる。中には直に言う人もいる。ひどすぎる。
- 協和では個人のプライバシーが守られず聞こえてきたり、他人に言われたり、本当に腹立たしい。
- 返信用封筒を小さくして（アンケート用紙を折る）郵便代を削減しては？コスト意識？考慮してはいかがですか？
- 満足度の区分で「わからない」という場合の選択に困る。設問について、日常困っていることや迷惑に思っていることについて問う項目も考えてほしい。アンケートの主旨となじまないかな？
- 大仙市、市民のためご尽力いただきありがとうございます。
今回のアンケートに記入するにあたり、私の場合は大仙市全体というよりも、私自身の周辺のことを念頭において回答した部分が多かったと思います。私の認識が不足な部分は多々あると思いますが大曲地域のみが整備されていると思っています。大仙市の中の大曲ではなく、大曲市のように思われます。

- アンケートの設問の内容がわかりづらかった。
具体的でないので、アンニュイな答え方をしてしまった部分が多い。
- アンケート内容がむずかしく 現状把握ができていないので。
- アンケートの問い方が大まかすぎて何を意図するアンケートなのかが理解に苦しみます。市政評価とは、こんなに難しく書かないといけないものなのか…他の市民の皆様は書いてあることがちゃんと理解できてマルをつけているのか…私にとっては、とても難しかったです。
- 今回のアンケートについて記入しながら思ったのは、「市政についてあまり深く考えたり、想ったりすることがないまま暮しているんだ」ということです。これからは「こういう制度があったらいいのに」というように市政について想うことも大切なことだと意識していこうと思いました。アンケート対象者に無作為とはいえ選んでくださり、ありがとうございます。
- “どちらともいえない”については判断できる情報が無いためなので、決して否定的な意味合いではないです。

その他

- 市外地を豊かにしてほしい
- この土地が嫌いです。早く引っ越したいです。
市長さんは頑張っていると思います。
- これからも大仙市の将来のために頑張ってください。
- これからの地方都市はエネルギービジョンと比例して伸びていくと思います。産業はそこから生み出すべきです。ビジョンが見えません。この地域は水も食も空気も人も良いですが、足りないのは暮すためのエネルギー源です。
- 市内の地域による格差（ハード面・ソフト面共に）が解消されると良いと思う
- 安心して暮せるよう、市民の声に耳を傾けていただき、嬉しく思います。何人もの市民が不満を持って暮していると思いますが、一番は高齢者だと思います。もっともっと市民に耳を傾け、さらに安心できる大仙の町をつくりあげてほしいと思っています。

- 私は福祉に関する仕事だけで他のことはあまり良く判らず、アンケートは参考にならないかも知れませんが、常に思っていることは、少子高齢一番の秋田県。大きな会社もなく結婚支援サポーターの一会員として協力しているものの、なかなか結婚しない若い人たちが一杯おります。

一戸建ての空き家も沢山あり、最終的に市税で解体となります。福祉の方に随分お金の使われ先行きが不安になります。市職員の皆様方、自治会への助成金、生活保護費の支給等などしっかり確認したりしていただきたいものです。

血税が有効に使われること願っております。

- 人口増加（市民）への斬新かつ真剣な取り組みが必要と思います
- 今回のアンケートですが、大曲だけが他の地域と比べて発展していると思っているのは、私だけではないと思います。もっと広く大仙市全域を見てもらいたいです。そして、高齢化の集落の維持とありましたが、県全体で高齢化が維持が目に見える早さで進んでいるので、高齢化集落の維持は難しいことだと思います。どうすれば、若い人たちが地元に残ってくれるのかを考えるには、自分たちの足で各地域を回って見た方がよいのではないのでしょうか？
- 先日の新聞記事にて、将来的に存続が危ぶまれる自治体が増加していくと見ました。私たち市民も市政担当者や議員らへ依存するだけではなく、参画意識を持って暮らしていきたいと思っています。

高齢化社会に向けた、具体的な方策をお示しくださることを期待しています。

- がんばろう大仙市民　がんばろう栗林市長
- よりよい市になるよう、よろしくお願いします。
- 大仙市の将来のためのアンケートについて

住みやすさ指数全国上位は記憶に新しいところですが、このところ新聞等で記事にでています秋田県の出生率、人口減、婚姻率ワースト上位の原因を少し上げたいと思います。（注：各項目に記載させていただきました）

最後に、縦割り政策は限界と思われます。

大仙市に限らず、地方では同じような状況です。

元気な若者と元気な高齢者の充実に期待しております。

- いろんな面で、中央は恵まれますが…大きな市になって、窮屈な思いが多く感じられます。すみずみまで手が届くようにお願いします。
- 市町村合併は市民にとって、市職員にとって、本当に合理化に繋がったのか、知る機会がありません。
- 先のことより今どう生きるか 私だけかもしれませんが、大変です

資料

- ・平成 26 年度「市民による市政評価」調査票

大仙市の将来のために 平成26年度市民による市政評価 ご協力をお願い

市民の皆様には、日ごろから市政の推進に対してご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

大仙市では、『人が生き人が集う夢のある田園交流都市』を将来都市像とし、平成18年度から27年度までの10年間のまちづくりの基本的指針を示した「大仙市総合計画」を策定し、推進しています。

この「市民による市政評価」は、市民の皆さまが日ごろ感じていらっしゃることや、まちづくりに対する要望をお聞きするものです。

皆さまからいただいたご回答は、施策の見直しや市民と協働のまちづくりを進めるための大切な基礎資料となります。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、「市民による市政評価」の趣旨をご理解いただきまして、アンケートにお答えくださいますようお願い申し上げます。

平成26年5月

大仙市長 栗 林 次 美

《ご回答記入の締切》

お答えはこの調査票に直接ご記入いただき、**6月6日(金)**までに、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。
(切手は不要です。)

《ご記入上の注意》

※ このアンケートは、市内にお住まいになっている18歳以上の方の中から無作為(性別、年齢、地域については考慮)に1,000人を抽出させていただき、無記名形式で行います。

※ ご回答いただいた内容等につきましては、すべて統計的に処理し、他の目的には一切使用いたしません。ご本人にご迷惑をおかけすることはありませんので、率直にご回答ください。

《ご記入の方法》

1 このアンケートは原則として封筒の宛名ご本人がお答えください。やむを得ず、ご本人がお答えできない場合は、ご家族の方(ただし、18歳以上の方)がお答えいただいても結構です。

2 質問のあとに「(○はそれぞれ1つ)」とあるときには、あてはまる回答項目を1つ選び、番号を○で囲んでください。

(例) 5 4 3 2 1

3 質問のあとに「(○はいくつでも)」とあるときには、いくつ選んでも構いません。あてはまる回答項目の番号を○で囲んでください。

(例) 5 4 3 2 1

4 あてはまる項目がないときは、「その他()」に具体的にご記入ください。

【このアンケートに関するお問い合わせ先】

大仙市 企画部 総合政策課 政策調整班

電話:0187-63-1111(内線229) FAX:0187-63-1119

メール:sougou@city.daisen.akita.jp

問1 施策の満足度と重要度について

あなたは、下表の設問項目について、大仙市の現状にどのくらい満足していますか。また、今後、大仙市のまちづくりにとってどのくらい重要であるとお考えですか。

下表の設問項目ごとに、「満足度」と「重要度」についてあなたのお考えに一番近い番号をそれぞれ1つつ選んで、○印をつけてください。（○はそれぞれ1つ）

満足度と重要度 設問項目		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらでもない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらでもない	2 あまり重要ではない	1 重要ではない
	〈記入例〉	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
Ⅰ 健康・安全・安心 に暮らせるまちづくり	① (保健・医療) 健康増進、介護予防にすすんで取り組める環境や医療体制について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	② (子育て支援) 安心して子育てができる社会環境について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③ (社会福祉) 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉などの充実について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④ (地域福祉) 地域の住民、民間事業者、行政などが助け合い、支えあう福祉体制について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
Ⅱ 心豊かな人を育むまちづくり	① (学校教育) 学習意欲と能力を養う学校教育について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	② (生涯学習) 多様な学習機会から生涯を通じて学び、活かせる暮らしについて	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③ (芸術・文化) 芸術、文化活動、文化財に触れる機会について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④ (スポーツ・レクリエーション) スポーツ・レクリエーションを通じた豊かな生活の実現について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

(つづき)

設問項目		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらでもない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらでもない	2 あまり重要ではない	1 重要ではない
Ⅲ 活躍できるまちづくり	① (産業振興) 農林業、商工業を中心とした産業振興について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	② (産業創出・支援) 魅力ある産業の創出や市民の起業に対する支援について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③ (観光振興) 豊かな地域資源や交通の利便性を活用した観光振興について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④ (就業支援) 就業希望者に対するさまざまな支援について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
Ⅳ 整った生活の基盤づくり	① (交通インフラ) 利便性の高い幹線道路と生活を支える道路の整備について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	② (公共交通) 長寿社会に対応した公共交通の確保について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③ (市街地形成) 既存市街地を中心としたコンパクトな市街地の形成について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④ (上・下水道) 快適な暮らしの基盤となる上・下水道の整備について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

(つづき)

満足度と重要度 設問項目			満足度					重要度				
			5 満足	4 まあ満足	3 いどちら ないとも	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 いどちら ないとも	2 では あまり重要 ではない	1 重要 ではない
V 環境と調和し 快適で安全に暮らせるまちづくり	①	(自然保護) 緑豊かな自然環境の保全について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	②	(住環境) 市営住宅や宅地、公園・緑地の整備について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③	(衛生環境) 衛生的な環境整備やゴミの減量化について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④	(安全・安心体制) 消防・防災体制や雪対策の強化について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
VI 仲間とふれあい ともに活躍できるまちづくり	①	(参画・交流) 大仙市を訪れる人が魅力に感じる、温かみのある地域づくりについて	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	②	(協働) 市民と行政などが協働により高めあう地域づくりについて	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③	(地域活性化) 住民によるまちづくりが可能な地域社会の形成について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④	(行財政運営) 市の行財政運営の効率化について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問2 今後、さらに推進すべき取り組みについて

設問1

あなたが**健康福祉分野**で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。あてはまる番号**すべて**に○印をつけてください。（○はいくつでも）

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1 地域医療体制の整備 | 2 健康づくりの推進 |
| 3 病気予防体制の充実 | 4 母子保健の充実 |
| 5 育児支援の充実 | 6 保育体制の充実 |
| 7 児童館、児童クラブなどの充実 | 8 福祉活動のネットワーク化、ボランティア化 |
| 9 母子、父子福祉の充実 | 10 障がい(身体、知的、精神)者・児への福祉 |
| 11 高齢者福祉の充実 | 12 介護予防事業の充実 |
| 13 国民健康保険などの社会保障の促進 | 14 福祉施設、福祉住宅等の整備 |
| 15 その他() | |

設問2

あなたが**教育分野**で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。（○はいくつでも）

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1 学校教育の充実 | 2 幼児教育の充実 |
| 3 家庭教育、地域教育の推進 | 4 学校施設の整備 |
| 5 児童生徒の課外活動、校外活動の充実 | 6 生涯学習推進体制とネットワーク化 |
| 7 学習成果の活用と社会参加活動への支援 | 8 学習情報の提供 |
| 9 生涯学習機会の増加 | 10 芸術、文化活動の振興 |
| 11 文化財の保護保全・整備と活用 | 12 スポーツ、レクリエーション活動の充実 |
| 13 スポーツ、レクリエーション施設の整備 | 14 非核平和の啓発 |
| 15 その他() | |

設問3

あなたが**産業分野**で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。（○はいくつでも）

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1 農業の担い手確保、育成 | 2 農業生産基盤の整備 |
| 3 農産品の振興 | 4 農村生活・就業環境の整備 |
| 5 畜産業、林業、水産業の振興 | 6 中小企業、経営者の支援 |
| 7 商業環境の整備 | 8 企業誘致の強化 |
| 9 既存企業の振興 | 10 イベント、民俗行事への支援 |
| 11 観光誘客の推進 | 12 特産品の振興 |
| 13 雇用への支援 | 14 雇用環境の整備 |
| 15 その他() | |

設問4

あなたが**都市基盤分野**で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。（○はいくつでも）

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1 主要道路網の整備促進 | 2 生活道路の整備 |
| 3 幹線道路の整備促進 | 4 駅舎、駐車場の整備・維持管理 |
| 5 生活路線バス運行の維持のための支援 | 6 市内循環バス等の運行 |
| 7 生活に即した地域内交通システムの確立 | 8 計画的な市街地整備 |
| 9 駅周辺地区の整備促進 | 10 各地域の特徴を活かしたまちづくり |
| 11 安全で安定した水道水の供給 | 12 水道未普及地区の解消 |
| 13 下水道施設の整備 | 14 下水未処理地区の解消 |
| 15 その他() | |

設問5

あなたが**環境・安全分野**で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。（○はいくつでも）

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 自然環境の保全 | 2 自然とふれる場の創出 |
| 3 森林の維持と保全 | 4 河川とその周辺環境の保全・整備 |
| 5 市営住宅の整備・管理 | 6 住宅地の整備、供給 |
| 7 公園・緑地の整備、緑化の推進 | 8 廃棄物の排出抑制 |
| 9 廃棄物の適正処理 | 10 リサイクル可能な資源の利用促進 |
| 11 交通安全、防犯体制の強化 | 12 消防、防災体制の充実 |
| 13 除排雪体制の充実、整備 | 14 消融雪施設の整備促進 |
| 15 その他() | |

設問6

あなたが**地域情報・交流・行政運営分野**で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。（○はいくつでも）

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 男女共同参画社会の形成 | 2 市内地域間交流の促進 |
| 3 他市町村との連携、交流 | 4 国際交流の促進 |
| 5 自治組織づくり、自治会活動への支援 | 6 行政への市民参加の機会拡大 |
| 7 市内の情報網、通信網の整備 | 8 地域活動の情報提供 |
| 9 小規模集落、高齢化集落の維持 | 10 地域独自の活性化への支援 |
| 11 行政情報の提供と公開 | 12 市予算の財源確保 |
| 13 公共施設の見直し | 14 事務組織の見直しと職員資質の向上 |
| 15 その他() | |

■あなたご自身のことについてお伺いします。

- ・あなたの性別を、次の中から1つ選び、番号に○印をつけてください。

1 男性	2 女性
------	------

- ・あなたの年齢を、次の中から1つ選び、番号に○印をつけてください。

1 10代	2 20代	3 30代	4 40代
5 50代	6 60代	7 70代	8 80代以上

- ・あなたの居住地域を、次の中から1つ選び、番号に○印をつけてください。

1 大曲地域	2 神岡地域	3 西仙北地域	4 中仙地域
5 協和地域	6 南外地域	7 仙北地域	8 太田地域

■自由意見

今回のアンケートの内容に関わらず、市政に関してご意見・ご提案などがありましたら、ご記入願います。

以上で、アンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいたこの冊子は、同封の返信用封筒に入れ、**6月6日(金)までに**、切手を貼らずに、ご投函くださいますようお願いいたします。

